鶴岡工業高等専門学校へのアクセス

◎JR 羽越本線鶴岡駅下車　約 5.5 ㎞
①JR 鶴岡駅から庄内交通バス湯田川温泉行で 20 分
国立高専前下車
②JR 鶴岡駅から車で約 15 分
◎庄内空港から車で約 30 分
◎庄内空港から庄内交通空港連絡バス鶴岡市内行で 30 分
JR 鶴岡駅前乗換　湯田川温泉行で 20 分
国立高専前下車

独立行政法人国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校
〒997-8511　山形県鶴岡市井岡字沢田104
●総務課　TEL(0235)25-9014　FAX(0235)24-1840
●学生課　TEL(0235)25-9025　FAX(0235)25-8195
URL https://www.tsuruoka-nct.ac.jp　E-mail s-soumu@tsuruoka-nct.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

# 学校総覧

College Catalogue 2025

独立行政法人国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校

鶴岡工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), TSURUOKA COLLEGE

# 校　訓　College Fundamental Principles

理魂工才
自学自習

（初代校長　林　　茂　助）

## 校　章

図案　斎藤　求

山形県の「山」の文字を地として、「高専」の両側に出羽の国の「羽」を配し、鶴岡の「鶴」の華麗にして雄々しい羽ばたきを象徴する。

## ロゴマーク

直線と曲線は、正確さと柔らかい自由な発想を象徴しており、鶴の飛翔をモチーフに、世界に羽ばたき、そして未来を創造できる人になって欲しいという願いが込められている。（創立 50 周年記念事業の一環として制定）

# 校　歌

芳賀秀次郎　作詞
齋藤　次郎　作曲

みちのくに
みちのくの　花咲き匂ひ
最上川　めぐる国原
　あゝ吾等
春わかき　この丘に立ち
つねに　雄々しく
近代の　叡智磨かむ

みちのくに
みちのくの　海とどろきて
浜なすの　赤き磯山
　あゝ吾等
友情の旗　かざしつゝ、
真実　ひとすぢ
青春の　日々を歩まむ

みちのくに
みちのくの　風澄みわたり
鳥海の　遠き夕映
　あゝ吾等
創造の　精神ゆたけく
地平　遙かに
日本の　未来築かむ

# 目　次　Contents


1．ごあいさつ …… 2
2．創設・発展 …… 2
3．沿革 …… 3
4．教育目標と三つの方針 …… 4
5．組織 …… 6
　教職員の現員 …… 6
　学校運営組織図 …… 6
　会議・委員会等 …… 6
　役職員等 …… 7
6．本科 …… 8
　創造工学科 …… 8
　　基盤教育グループ …… 9
　　機械コース …… 10
　　電気・電子コース …… 12
　　情報コース …… 14
　　化学・生物コース …… 16
　　デジタルデザインコース …… 18
　　7つの応用分野について …… 19
　教育課程 …… 20
7．専攻科 …… 25
　生産システム工学専攻 …… 25
　教育課程 …… 26
8．図書館（図書広報室） …… 28
9．情報メディアセンター …… 28
10．教育研究技術支援センター …… 29
11．保健センター …… 29
12．国際交流 …… 30
13．地域連携センター …… 32
14．教員の研究活動 …… 34
15．学生 …… 35
　学生の定員及び現員 …… 35
　志願者数、受験者数及び入学者数 …… 35
　出身学校別学生数 …… 36
　出身地別学生数 …… 37
　学校納付金、奨学生数 …… 37
16．卒業後の進路 …… 38
　年度別就職・進学状況 …… 38
　就職 …… 38
　最近3か年の就職先 …… 39
　進学（編入学） …… 40
　進学先一覧 …… 40
　進学（大学院） …… 41
　大学院進学先一覧 …… 41
　卒業後の資格 …… 41
17．学寮 …… 42
18．学生会 …… 43
19．学校行事 …… 44
20．キャンパスマップ …… 45

## 1. ごあいさつ　Message from President of NIT(KOSEN), Tsuruoka College

校　長　President

### 太 田 道 也　OTA, Michiya

鶴岡高専は、昭和38年に鶴岡市に創設された歴史ある国立の高等教育機関で、今日までに輩出した8,258名の本科卒業生・専攻科修了生は庄内地域をはじめとした山形県や国内外各方面で技術革新の牽引役として産業の発展に大きく貢献しています。

また、庄内地域は日本有数の穀倉地帯である庄内平野があって、歴史的景観の出羽三山、絹織物、北前船寄港地をはじめとする文化と歴史の香る魅力ある地域でもあります。この地域の中核の一つである鶴岡市はユネスコ食文化創造都市に認定され、高等教育・研究機関が集結する知の拠点庄内をはじめ、電子部品やデバイス関連のハイテク産業・企業が集積している地方都市です。一方で、近年、先端材料や、バイオ、農産物といった分野を中心に、AIやDXなどを取り込んだ革新的な技術開発が進められおり、本校ならびに多数の卒業生が積極的に貢献しています。今後、2030年には先端IT人材が約55万人不足するという試算が報告されております。本校ではこうした5年先、10年先を見据えた新しい先端IT人材の育成を目指して、令和7年度よりデジタルデザインコースを新設して志願者を受け入れております。

本校のモットーは、「理魂工才・自学自習」です。自由な校風の下で、自ら学び、真理を探究し、高度な技術力を身につけることを目指しています。学生達は、自然豊かなキャンパスで、海外からの留学生とともに、博士号を持つ教員から、5年間もしくは7年間にわたり工学の基礎や応用力を学び、世界で活躍できるエンジニアや研究者となる基盤を築くことができます。

こうした本校の特色や取り組みについてご理解いただき、学びの場、交流の場として大いに期待していただきたいと思います。また、ご協力やご支援をよろしくお願いいたします。

## 2. 創 設・発 展　Establishment and Development

昭和30年代後半から、我が国は経済を急速に発展させ、今日の豊かな国民生活を支えてきました。その原動力は産業、とくに製造工業であったことから、工業界は実践力に富む中堅技術者を大量に必要としました。この社会的要請に応えて、本校は昭和38（1963）年の春に開校しました。

その後の技術革新やハイテク化、そして今日の科学技術立国に至る激動の中で、本校は科学技術者あるいは科学研究者を養成する特徴ある高等教育機関として、工業界において高く評価され信頼を得ています。その特徴は、5 年制一貫教育と大学編入学への広い門戸にありますが、平成15（2003）年には大学学部と同等の教育研究機能をもつ 2 年制の専攻科が設置され、学士学位の取得が可能となり、大学大学院への直接進学もできることになりました。そして、平成16（2004）年、独立行政法人化に伴い、地域密着型高専として新しい出発をしました。



## 3. 沿　革　History

| | | |
|---|---|---|
| 昭和37年 | 8月3日 | 国立鶴岡工業高等専門学校誘致期成同盟会発足 |
| 昭和38年 | 1月10日 | 国立工業高等専門学校の鶴岡市設置が正式決定 |
| | 4月1日 | 国立学校設置法の一部を改正する法律により、鶴岡工業高等専門学校（入学定員：機械工学科２学級80名、電気工学科１学級40名）設置；初代校長に理学博士･林茂助（東京工業大学名誉教授）が就任；元鶴岡市立第二中学校校舎を仮校舎とし開校 |
| | 4月20日 | 開校式並びに第１回入学式を仮校舎において挙行 |
| 昭和39年 | 3月30日 | 本校舎及び学寮竣工 |
| | 5月8日 | 仮校舎より本校舎（鶴岡市大字井岡字沢田104）に移転 |
| 昭和42年 | 4月1日 | 工業化学科（入学定員：１学級40名）増設 |
| | 9月14日 | 校舎落成記念式典を挙行 |
| 昭和43年 | 3月20日 | 第１回卒業証書授与式を挙行 卒業生110名（機械工学科70名、電気工学科40名） |
| | 4月1日 | 第１学年、第２学年全寮制実施 |
| 昭和46年 | 4月1日 | 第２代校長に斎藤信義（前本校教授・学生主事）が就任 |
| 昭和48年 | 10月26～28日 | 創立10周年記念行事実施 |
| 昭和51年 | 10月1日 | 第３代校長に工学博士・渡会正三（前名古屋大学工学部教授）が就任 |
| 昭和57年 | 4月1日 | 第４代校長に工学博士・染野檀（東京工業大学名誉教授・前長岡技術科学大学教授）が就任 |
| 昭和58年 | 10月15～16日 | 創立20周年記念行事実施 |
| 昭和61年 | 4月2日 | 第５代校長に工学博士・清水二郎（元東京工業大学工学部長・同名誉教授）が就任 |
| 平成２年 | 4月1日 | 機械工学科の２学級のうち１学級を制御情報工学科（入学定員：１学級40名）に改組 |
| 平成３年 | 4月1日 | 留学生の受入開始 |
| 平成４年 | 4月1日 | 新制服（コシノジュンコ氏デザイン）新入生から着用；学校週５日制の実施 |
| 平成５年 | 4月1日 | 第６代校長に工学博士・阿部光雄（東京工業大学名誉教授）が就任；工業化学科を物質工学科（物質・生物コース）に改組 |
| | 10月22～24日 | 創立30周年記念行事実施 |
| 平成６年 | 11月11日 | 地域協力教育研究センター設置 |
| 平成12年 | 4月1日 | 第7代校長に工学博士・野中勉（元東京工業大学大学院総合理工学研究科長・同名誉教授）が就任 |
| | 11月1日 | 地域共同テクノセンター設置（地域協力教育研究センター改組） |
| 平成13年 | 4月1日 | 総合情報センター設置（電子計算機室改組） |
| 平成14年 | 7月 | 運営協議会設置 |
| 平成15年 | 4月1日 | 専攻科（機械電気システム工学専攻・物質工学専攻）設置；保健管理センター設置；女子寮設置；新制服新入生から着用 |
| | 10月24～25日 | 創立40周年記念行事実施 |
| 平成16年 | 4月1日 | 独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校となる。 |
| 平成17年 | 4月1日 | 電気工学科を電気電子工学科に名称変更 |
| 平成18年 | 4月1日 | 第８代校長に工学博士・横山正明（東京工業大学名誉教授）が就任 |
| | 5月8日 | 「生産システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受ける。 |
| 平成21年 | 1月1日 | 教育研究技術支援センター設置 |
| | 9月15日 | 国際交流支援室設置 |
| 平成23年 | 4月1日 | 第９代校長に工学博士・加藤　靖（前仙台高専副校長）が就任 |
| 平成24年 | 1月31日 | 北陸先端科学技術大学院大学との推薦入学に関する協定締結 |
| | 4月1日 | 図書メディアセンター設置（図書館改組）学生支援センター、同キャリア支援室設置（保健管理センター改組）地域共同テクノセンター CO-OP 教育推進室設置 |
| 平成25年 | 10月25～26日 | 創立50周年記念行事実施 |
| 平成26年 | 4月1日 | 地域連携センター設置（地域共同テクノセンター改組）保健センター設置（学生支援センター改組） |
| 平成27年 | 3月1日 | 長岡技術科学大学他22大学・高等専門学校とｅラーニング高等教育連携に係る遠隔教育による単位互換に関する協定締結 |
| | 4月1日 | 機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科及び物質工学科を創造工学科（機械コース、電気･電子コース、情報コース、化学･生物コース）に改組（入学定員160名）専攻科機械電気システム工学専攻及び物質工学専攻を生産システム工学専攻（機械･制御コース、電気電子･情報コース、応用化学コース）に改組（入学定員16名） |
| | 12月25日 | 山形大学他４大学、山形県他13自治体と地（知）の拠点大学による地方創生事業の共同実施に関する協定締結 |
| 平成28年 | 4月1日 | 第10代校長に工学博士・髙橋幸司（前山形大学工学部教授）が就任 総合メディアセンター設置（図書メディアセンター、総合情報センター改組） |
| | 12月6日 | 情報セキュリティ大学院大学と包括連携に関する協定締結 |
| 平成30年 | 9月20日 | 酒田南高等学校との学術交流及び地域貢献に関する協定を締結 |
| 令和３年 | 3月25日 | 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する令和２年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価基準を満たしていると認定される。 |
| | 4月1日 | 第11代校長に森　政之（前文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課長）が就任 |
| 令和５年 | 4月1日 | 第12代校長に工学博士･太田　道也（前群馬工業高等専門学校物質工学科長）が就任 |
| | 10月27日 | 創立60周年記念行事実施 |
| 令和６年 | 4月1日 | 情報メディアセンター設置（総合メディアセンター改組） |
| 令和７年 | 4月1日 | デジタルデザインコース新設 |

# 4. 教育目標と三つの方針 Educational Goal and Three Policies

## 基 本 教 育 目 標

1．豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2．あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
3．専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
4．意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

## 本　　科

### 卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー） ※要約版

1　創造工学科のディプロマ・ポリシー
（A）知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
（B）専門分野の基礎知識としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
（C）論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
（D）専門分野の知識と情報技術を身につけ、ものづくりに幅広く対応できる実践力
（E）幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

2　コースのディプロマ・ポリシー
**機械コース** 機械工学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、機械、メカトロニクス、材料工学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。
**電気・電子コース** 電気・電子工学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー技術等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。
**情報コース** 情報工学、システム制御等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。
**化学・生物コース** 化学、生物学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、物質・材料、生物工学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。
**デジタルデザインコース** デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかの視点に立って、データサイエンス、AIなどを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力を備える。

※本校HPに全体版が掲載されています。

### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ※要約版

1　創造工学科のカリキュラム・ポリシー
（A）知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力を身につけるため、グループワークを取り入れた科目や卒業研究などを編成しています。
（B）専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を身につけるため、数学、物理、化学、生物に関する科目を編成しています。
（C）論理的表現力と外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、国語、英語、第二外国語に関する科目を編成しています。
（D）専門分野の知識と情報技術、ものづくりに幅広く対応できる能力を身に付けるため、専門基礎、情報処理、実験・実習などの科目を編成しています。
（E）幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につけるため、人文社会に関する科目を編成しています。

2　専門コースのカリキュラム・ポリシー
**機械コース** では、機械工学分野の専門知識と技術を身に付けるため、機械、メカトロニクス、材料工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。
**電気・電子コース** では、電気電子工学分野の専門知識と技術を身に付けるため、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギーに関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。
**情報コース** では、情報工学分野の専門知識と技術を身に付けるため、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。
**化学・生物コース** では、化学・生物分野の専門知識と技術を身に付けるため、物質・材料、生物工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。
全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価し、60点以上（1〜3学年については50点以上）となることによって単位を認定します。
**デジタルデザインコース** では、デジタル・リベラルアーツを主軸とし、工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかの専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウエア、ソフトウエア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物工学のいずれかに関連したデータサイエンス、AIなどを活用した授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。
※本校HPに全体版が掲載されています。

### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

◇技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
◇学習意欲が高く、数学、理科、国語、社会、英語の基礎力が備わっている人
◇何事にも粘り強さと責任感を持って積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
◇「ものづくり」に対する専門的知識を身に付けて、将来、課題解決のために活躍するリーダーとなることを志す人

## 専　攻　科

### 修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー） ※一部抜粋

（A）多様な価値観を理解できる協働性を持ち、世界的視野で物事を考えることができる能力
（B）社会や自然に関わる科学的知識、融合複合分野に関する基礎的知識及び専門分野における基盤知識を活用できる能力
（C）科学技術分野における諸課題について、主体的に計画して取り組み、知識を統合・発展させて解決できる能力
（D）論理的な思考力、記述力、成果発表と議論の能力及び国際的コミュニケーション能力

※本校HPに全体版が掲載されています。

### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ※一部抜粋

ディプロマ・ポリシーに示された能力を身に付けることにより、社会情勢の変化にも対応して活躍できる技術者や研究者を育成します。また、専門科目だけでなく広い分野にわたる知識や技術も習得できるよう、以下のようなカリキュラム方針に基づいて編成されています。
（1）広い視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成するため、各コース共通として「日本学特論」、「技術者倫理」、「地域政策論」、「環境社会学」などの一般科目を編成しています。
（2）自ら考え計画し、能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力を育成するため、「創造工学実習」、「実践的デザイン工学実習」、「専攻科研究Ⅰ」、「専攻科研究Ⅱ」を編成しています。
（3）専門分野に加えて基礎工学をしっかり身に付けた生産技術に関する幅広い対応力を育成するため、「応用代数」、「物理学特論」、「データ解析」、「専攻科実験」、「インターンシップ」等を編成しています。
（4）英語力を含めたコミュニケーション力を育成するため、「総合実践英語Ⅰ」「総合実践英語Ⅱ」を編成しています。英語による論理的な記述、討論などの能力を涵養します。

| 評　価（点数等） | 基　　準 |
|---|---|
| 優（80点以上） | 研究や実践的問題の解決に際して、講義で学修した内容を応用することができる。 |
| 良（70点以上） | 講義で用いる教科書レベルの演習問題を解くことができる。 |
| 可（60点以上） | 講義内容に関する基本的な原理、法則、方程式、学説等を理解している。 |
| 不　　可 | 学術における当該講義の位置づけを理解していない。 |

※本校HPに全体版が掲載されています。

### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

（1）科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
（2）発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
（3）技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

# 5. 組　織　Organization

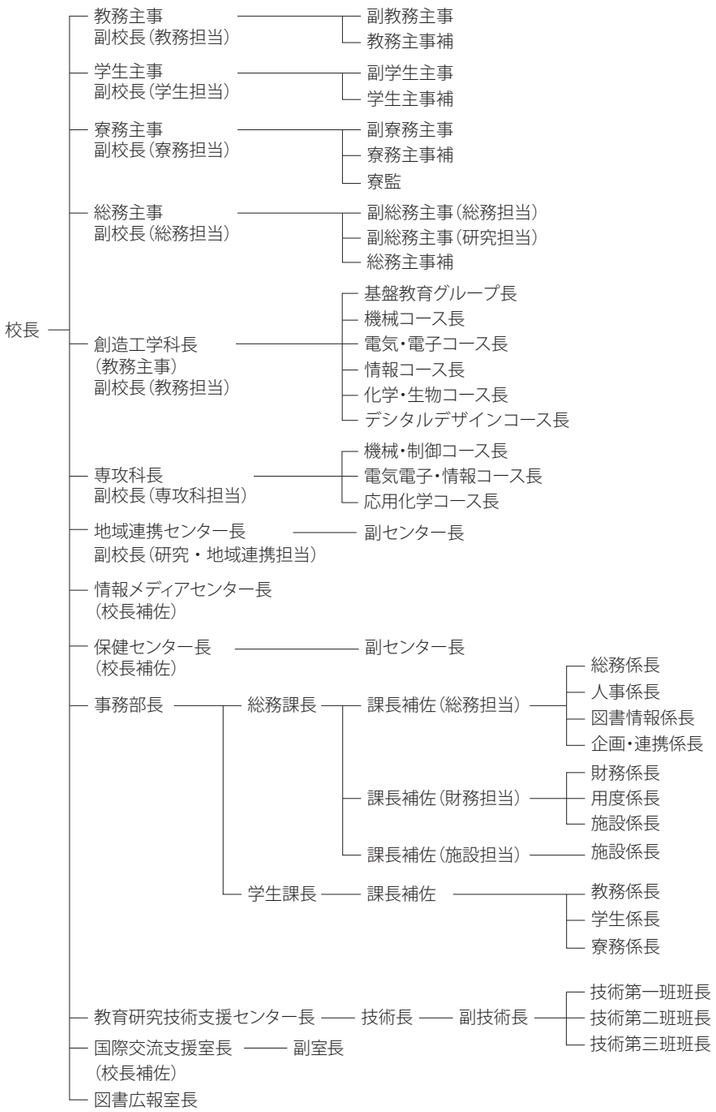
## 教職員の現員　Actual Number of Staff

令和7年5月1日現在

| 区分 | 教育職員 | | | | | | | | | | | | | 一般職員 | | | | | | | | | | | | 合計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 校長 | | 教授 | | 准教授 | | 講師 | | 助教 | | 計 | | | 事務系 | | 技術技能系 | | 医療系 | | 教務系 | | 計 | | | | | | |
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 現員 | 1 | 0 | 14 | 1 | 24 | 1 | 1 | 2 | 12 | 3 | 52 | 7 | 59 | 15 | 15 | 0 | 0 | 0 | 1 | 10 | 1 | 25 | 17 | 42 | 77 | 24 | 101 |

（注）嘱託教授及び嘱託職員を除く。
（学校基本調査の学校調査票に一致する）

## 学校運営組織図　Organization Chart




### 会議・委員会等

運営協議会
運営会議
教員会議
グループ会議
コース会議
自己点検・評価委員会
教員業績評価委員会
いじめ防止等対策委員会
情報セキュリティ管理委員会
教務委員会
入学試験委員会
障害学生支援委員会
志願者対策委員会
安全衛生・環境保全委員会
学生委員会
キャリア支援委員会
寮務委員会
専攻科委員会
知的財産委員会
研究倫理審査委員会
ハラスメント防止対策委員会
ＦＤ・点検改善委員会
情報セキュリティ推進委員会
情報公開委員会
施設・設備マネジメント委員会
男女共同参画推進委員会
教育研究技術支援センター運営委員会
図書委員会
特別事業推進委員会

（注）小委員会及び各種チームは除く。

## 役職員等　Administration

| 役職 | 氏名 |
|---|---|
| 校長 | 太田道也 |
| 副校長（総務担当）／総務主事 | 宍戸道明 |
| 副総務主事（総務担当） | 山田充昭 |
| 〃　（研究担当） | 佐藤　司 |
| 副校長（教務担当）／教務主事 | 上條利夫 |
| 副教務主事 | 小寺喬之 |
| 教務主事補 | 伊藤卓朗 |
| 〃 | Tran Huu Thang |
| 〃 | 髙橋　聡 |
| 副校長（学生担当）／学生主事 | 本間浩二 |
| 副学生主事 | 保科紳一郎 |
| 学生主事補 | 時本　純 |
| 〃 | 森　隆裕 |
| 副校長（寮務担当）／寮務主事 | 宝賀　剛 |
| 副寮務主事 | 八須匡和 |
| 寮務主事補 | 荒船博之 |
| 〃 | 櫻庭崇紘 |
| 〃 | 倉田かりん |
| 寮監 | 佐藤一永 |
| 副校長（専攻科担当） | 宍戸道明 |
| 副校長（研究・地域連携担当） | 斎藤菜摘 |
| 校長補佐 | 大西宏昌 |
| 〃 | 小野寺良二 |
| 〃 | 久保響子 |
| 創造工学科長 | 上條利夫 |
| 基盤教育グループ長 | 山田充昭 |
| 機械コース長 | 矢吹益久 |
| 電気・電子コース長 | 渡部誠二 |
| 情報コース長 | 金　帝演 |
| 化学・生物コース長 | 森永隆志 |
| デジタルデザインコース長 | 遠藤博寿 |
| 専攻科長 | 宍戸道明 |
| 情報メディアセンター長 | 大西宏昌 |
| 地域連携センター長 | 斎藤菜摘 |
| 保健センター長 | 小野寺良二 |
| 教育研究技術支援センター長 | 渡部誠二 |
| 国際交流支援室長 | 大西宏昌 |
| 図書広報室長 | 菅野智城 |
| 事務部長 | 篠塚清幸 |
| 総務課長 | 海野博之 |
| 課長補佐（総務担当） | 大山　元 |
| 課長補佐（財務担当） | 中島栄子 |
| 課長補佐（施設担当） | 阿部強士 |
| 総務係長 | 庄司陽一 |
| 人事係長 | 宅井真美 |
| 図書情報係長 | 笹原孝紀 |
| 企画・連携係長 | 石川良樹 |
| 財務係長 | 斉藤美香 |
| 用度係長 | 飯塚尚美 |
| 施設係長 | 阿部強士 |
| 学生課長 | 山川正敏 |
| 課長補佐 | 中島直樹 |
| 教務係長 | 岩崎聡子 |
| 学生係長 | 宮野　亮 |
| 寮務係長 | 中島直樹 |
| 技術長 | 伊藤眞子 |
| 副技術長 | 佐藤大輔 |

# 6. 本　科　Faculty

## 創造工学科　Department of Creative Engineering

本校では、地域からの要請により、産業構造の高度化に対応できる融合複合技術者・グローバルエンジニア・イノベーション人材の育成をめざし、平成 27 年４月１日に創造工学科を設置しました。

創造工学科は、工学の融合複合分野の知識・技術を習得し、エンジニアリングデザイン能力、コミュニケーション能力およびアントレプレナーシップ（起業家精神）を兼ね備えた、グローバルに活躍できる主体的で創造性豊かな実践的技術者の養成を目指しています。

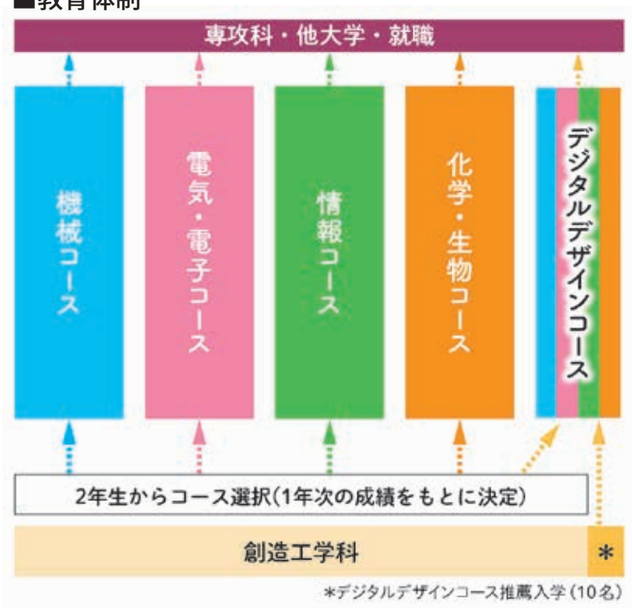
創造工学科においては、「ものづくり」や工学に興味のある学生を広く受け入れ、１年次において工学の基礎を教育します。２年次には機械コース、電気・電子コース、情報コース、化学・生物コースの４つの基礎コースに本人の志向や適性とマッチングを図りながら所属コースを決定し、技術者の素養を育成します。４年次・５年次には、コースを横断して設置される７つの応用分野から１分野を選択し、問題発見及び解決能力等の実践力を養成します。

学科再編のため新設された８号館

最大で 180 名収容可の大講義室

令和７年度から、機械、電気・電子、情報、化学・生物コースの各分野の専門性とデジタルデザイン技術を見極めた人材育成を目指す新しいコース「デジタルデザイン（DD）コース」を新設し、また、最新の AI・DX の発展に対応した数理データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の認定を受けるための教育プログラムを全面的に展開します。この変化により、時代のニーズに合わせて産業界が求める人材を育成していきます。

■教育体制




## 基盤教育グループ　Center for Fundamental Education

高度な技術を身につけた優れた実践的技術者として産業界で活躍するためには、専門的な知識や技術の修得はもちろん、幅広い知識や豊かな教養を身につけ人間性を高めることが大切です。そのための教科が「一般科目」で、基盤教育グループの教員が担当します。

一般科目は、専門のさまざまな問題を的確にとらえ柔軟に対処できる基本的な能力を養うことを目指す基礎専門科目と、産業界の国際化に対処できる能力と情操豊かで健全な社会人の育成を目指す一般教養科目から成っています。低学年を中心に高学年まで授業が行われ、優れた技術者を養成するための重要な役割を担っています。

１年生　国語Ⅰでのグループワーク

### 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 阿　部　秀　樹<br>ABE, Hideki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（英語学）<br>Ph.D. | 英語音声学・音韻論、第二言語の音韻習得<br>English Phonetics and Phonology, L2 Phonology |
| 石　井　智　子<br>ISHII, Tomoko | 助　　教<br>Assistant Professor | 修　士（文学）<br>M.A. | 近代におけるキリスト教思想の展開<br>The Development of Christian Thought in Modern Times |
| 伊　藤　卓　朗<br>ITO, Takuro | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（生命科学）<br>Ph.D. | 細胞機能、生物多様性、地域資源<br>Cell Functions, Biodiversity, Wild Resources |
| 大　西　宏　昌<br>OHNISHI, Hiromasa | 教　　授<br>Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 理論固体物理学<br>Theoretical Solid State Physics |
| 菅　野　智　城<br>KANNO, Tomoshiro | 准　教　授<br>Associate Professor | 修　士（文学）<br>M.A. | イギリス文学<br>English Literature |
| 木　村　太　郎<br>KIMURA, Taro | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 微分幾何学<br>Differential Geometry |
| 酒　井　啓　史<br>SAKAI, Hirofumi | 助　　教<br>Assistant Professor | 修　士（言語学）<br>M.A. | 構文文法、動詞意味論<br>Construction Grammar, Verbal Semantics |
| 杉　本　恭　司<br>SUGIMOTO, Kyoji | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（理学）<br>Ph.D. | 微分幾何学<br>Differential Geometry |
| 田　阪　文　規<br>TASAKA, Fuminori | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 群論<br>Group Theory |
| 田　邊　英一郎<br>TANABE, Eiichiro | 准　教　授<br>Associate Professor | 教育学修士<br>M.Ed. | 英語学、英語教育学<br>English Linguistics, Applied Linguistics |
| 時　本　　純<br>TOKIMOTO, Jun | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（理学）<br>Ph.D. | 固体物理（理論）<br>Condensed Matter (Theory) |
| 野々村　和　晃<br>NONOMURA, Kazuaki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 環論<br>Ring Theory |
| 廣　田　大　輔<br>HIROTA, Daisuke | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（理学）<br>Ph.D. | 関数解析学<br>Functional Analysis |
| 本　間　浩　二<br>HONMA, Koji | 教　　授<br>Professor | 修士（スポーツ科学）<br>M.Sport Sc. | ラグビー<br>Rugby Football |
| 松　橋　将　太<br>MATSUHASHI, Shota | 准　教　授<br>Associate Professor | 修　士（体育学）<br>M.P.Ed. | トレーニング方法論<br>Training Methodology |
| 森　木　三　穂<br>MORIKI, Miho | 講　　師<br>Lecturer | 修　士（国文学）<br>M.A. | 国文学<br>Japanese Literature |
| 山　田　充　昭<br>YAMADA, Mitsuaki | 教　　授<br>Professor | 博　士（文学）<br>Ph.D. | 日本史学<br>Japanese History |

### 設　　備　Equipments

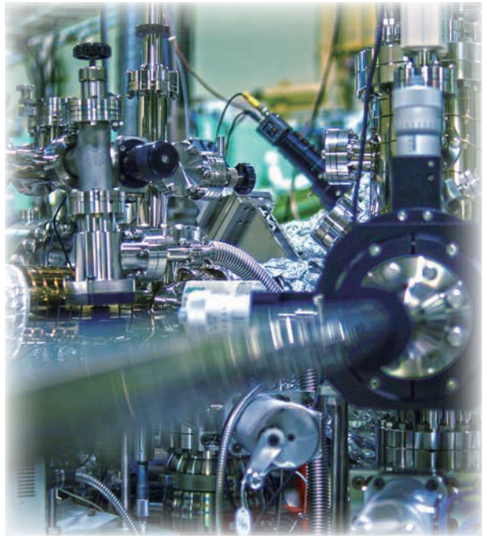
| 室　名 | 主　な　設　備 |
|---|---|
| 物　理　実　験　室 | 力学実験器具一式、光学台、水熱量計、電流・電圧計、オシロスコープ、気柱共鳴装置、線スペクトル光源装置、分光計、He-Neガスレーザー装置、GM計数装置、シンチレーション・サーベイメータ |
| 一　般　化　学　・<br>分析化学実験室 | 一般化学実験器具一式、可視光分光光度計、電気炉、精密電子天秤、蒸留水製造装置、イオン交換水製造装置、pHメーター、マイクロピペット、定温乾燥器 |

## 機械コース　Course of Mechanical Engineering

機械コースでは、様々な産業分野で使用される機械の開発・設計や、信頼性の高い製品を効率良く作るための考え方、製造法等を総合的に学習します。具体的には、機械に利用される材料の性質や強さ、その合理的な加工法、水・熱・空気に関する基礎理論や機械の構造と力の伝わり方などの専門知識を学習します。加えて、実験、実習、設計製図を通して、実践技術を身につけます。

さらに、最近では自動化が進み、機械工学の内容は、電気・電子や情報工学の分野とも深い関わりを持つようになってきました。本コースではそれらに対応するために、上記の機械系科目を基本に、情報処理やCADを学習し、実験のデータ処理や解析、設計製図の能率化に役立てます。さらに、マイコン制御、メカトロニクスなどの電気系、制御系科目の基礎も学習し、幅広い知識を身につけます。

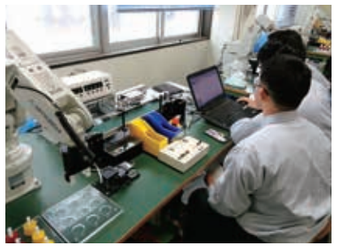
卒業研究では教員とのマン・ツー・マンのふれあいにより、豊かな人間性の形成と技術に関する総合的判断力、創造性、応用力、研究及び調査の立案や発表能力を養います。工業界のあらゆる分野で活躍できる教養豊かな機械技術者の育成を目指しています。



4年生 CADを使った製図の授業

4年生 マシニングセンタ実習

4年生 材料力学実験



5年生 ロボットアームによるFA実験

5年生 流体力学実験

5年生 卒業研究

## 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 荒　船　博　之<br>ARAFUNE, Hiroyuki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 材料科学、分析化学<br>Material Science, Analytical Chemistry |
| 五十嵐　幸　徳<br>IKARASHI, Yukinori | 准　教　授<br>Associate Professor | 工　学　修　士<br>M.Eng. | 材料工学<br>Material Engineering |
| 遠　藤　大　希<br>ENDO, Hiroki | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 3Dプリンタ、風力・水力エネルギー<br>3D Printing, Wind / Hydro Energy |
| 小野寺　良　二<br>ONODERA, Ryoji | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 計測制御、医療福祉工学<br>Instrumentation & Control, Medical and Welfare Engineering |
| 今　野　健　一<br>KONNO, Kenichi | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 生体力学<br>Biomechanics |
| 佐々木　裕　之<br>SASAKI, Hiroyuki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博士（理工学）<br>D.Sc.Tech. | ロボット工学<br>Robotics |
| 宍　戸　道　明<br>SHISHIDO, Michiaki | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）、<br>技術士（機械・総監）<br>Ph.D., Professional Eng. | ME工学<br>Medical Engineering |
| 徐　　嘉　楽<br>XU, Jiale | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | MEMS、触覚ディスプレイ、化学分析チップ<br>MEMS, Tactile texture displays, Chemical analysis chips |
| 矢　吹　益　久<br>YABUKI, Masuhisa | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 真空工学<br>Vacuum Engineering |
| 和　田　真　人<br>WADA, Masato | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | ソフトロボティクス・メカニクス、トライボロジー<br>Soft Robotics / Mechanics, Tribology |

## 設　　備　Equipments

| 区　分 | 主　な　設　備 |
|---|---|
| 実　習　工　場 | 立形マシニングセンタ、普通旋盤、NC旋盤、立フライス盤、横フライス盤、ホブ盤、ラジアルボール盤、卓上ボール盤、平面研削盤、TIG溶接機、アーク溶接機、ガス溶接機、コンターマシン、射出成形機、ワイヤ放電加工機、ファイバーレーザ加工機、手仕上げ器具一式、3Dプリンタ |
| 製　図　室 | パソコン50台、レーザープリンタ2台、SolidWorks 2013 |
| 電子顕微鏡室 | 走査電子顕微鏡、三次元測定器 |
| デザイン工学分野 | 水力実験装置、吹出し式風洞、熱線風速計、燃焼排ガス分析計、放射温度計、FA実験装置、ディジタルオシロスコープ、各種トルクメータ、シャルピー試験機、硬度計各種、精密万能試験機、油圧サーボ疲労試験機、パソコン15台、レーザープリンタ3台、風洞実験装置、三分力計、ベッツ型微気圧計、熱線風速計、振動実験装置、超音波風速計、油回転真空ポンプ、太陽電池、鉛蓄電池、往復摺動摩擦試験機、大型UVボックス、3Dプリンター（熱溶解積層方式、光造形方式）、3Dスキャナー、CO2レーザー加工機、卓上ロボットアーム、簡易ドラフト |
| メカトロニクス分野 | 自操型/介助型車いす、電動車いす、6軸力覚センサ（有線・無線）、慣性センサ、筋電センサ、体圧分布センサ（分布版）、3Dプリンタ、非接触変位計、位相差顕微鏡、落射蛍光装置、CO2インキュベータ、クリーンベンチ、高速遠心機、超低温フリーザ、高圧蒸気滅菌機、脳波計、光トポグラフィ、チルトテーブル、シールドルーム、α波測定器、研究用血流計、心拍計、放射温度計、体圧分布測定装置、ドローン |
| 資源エネルギー分野 | 万能試験機、摩擦試験機、接触角計、真空オーブン、エレクトロスピナー、蒸留水製造装置、精密天秤、マイクロ波プラズマ発生装置、高周波マイクロプラズマ源、マルチチャンネル分光器、四重極型質量分析装置、RF電源、紫外可視分光光度計 |
| 材料工学分野 | 万能金属顕微鏡、焼入用電気炉、硬度計、超耐熱材料作製システム（放電プラズマ焼結機）、自動乳鉢、手動式ミニプレス、自動研磨装置、真空乾燥システム、実験用遊星回転ポットミル、イメージファーネス、簡易型グローブボックス、試料樹脂込め装置 |

## 電気・電子コース　Course of Electrical and Electronic Engineering

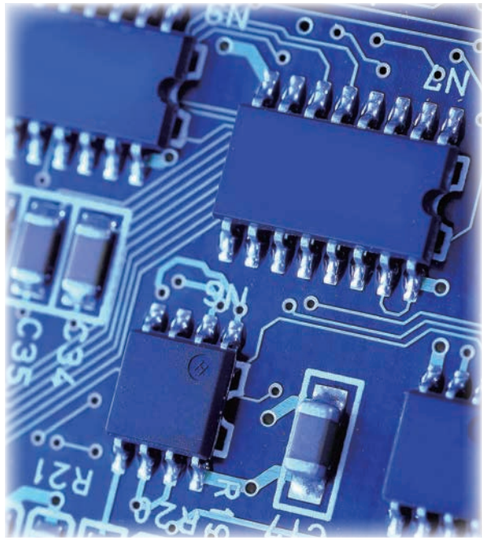
電気・電子コースでは、現代社会に欠くことのできない『エレクトロニクス』、『情報・通信』、『電気エネルギー』の 3 分野を教育の柱とし、各分野のバランスのとれた学習で急激に発展する産業界で活躍できる創造性豊かな総合電気電子技術者の養成を目指しています。

具体的には、家庭の各種電化製品の便利な機能と深く関わるエレクトロニクスやマイクロコンピュータの活用、コンピュータによる情報処理とITやインターネットなどと密接に関係する情報通信、それにこれらの電気電子機器やコンピュータから新幹線まであらゆるところで不可欠な電気エネルギーの発生等、電気電子の基礎から応用までをアナログ、ディジタル両面から学習することができます。

またコンピュータに関係しては、1 年生から 5 年生まで満遍なくプログラミングや情報処理について演習中心に学び、高学年ではe-ラーニング教材によるIT教育も取り入れ、ハードウェアからネットワークシステムに関するソフトウェアまでを学習してマルチメディアに対応できる基礎を身に付けることができます。

他方高学年で、必要な科目を選択して修得し、さらに定められた実務経験によって第 2 種電気主任技術者の資格認定を受けることができます。

教室での授業以外にインターンシップや工場見学で実社会の見聞を広め、卒業研究では教員が学生一人一人に対し、研究テーマの選定、研究の進め方、論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方等の指導を行っており、自分で課題発見・計画・実行できる技術者が育つ環境が整っております。



3 年生 太陽電池の実験

3 年生 論理回路の実験

4 年生 誘導電動機の実験

5 年生 ロボットプログラミング

5 年生 高電圧実験

## 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 伊　藤　絵里香<br>ITO, Erika | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（農学）<br>D.Agr. | 土木環境システム<br>Civil engineering and environmental systems |
| 内　山　　潔<br>UCHIYAMA, Kiyoshi | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電気電子材料<br>Electrical and Electronic Materials |
| 神　田　和　也<br>KANDA, Kazuya | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | センサ工学<br>Sensor Electronics |
| 櫻　庭　崇　紘<br>SAKURABA, Takahiro | 助　　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 制御工学<br>Control Engineering |
| 佐　藤　智　也<br>SATO, Tomoya | 助　　教<br>Assistant Professor | 修　士（工学）<br>M.Eng. | 電気電子材料<br>Electrical and Electronic Materials |
| 田　中　　勝<br>TANAKA, Masaru | 准　教　授<br>Associate Professor | 修　士（工学）<br>M.Eng. | 電気電子材料<br>Electrical and Electronic Materials |
| チャン フウ タン<br>TRAN Huu Thang | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電力工学<br>Electric Power Engineering |
| 宝　賀　　剛<br>HOGA, Takeshi | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電気電子材料<br>Electrical and Electronic Materials |
| 保　科　紳一郎<br>HOSHINA, Shinichiro | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電波工学<br>Microwave Technology |
| 森　谷　克　彦<br>MORIYA, Katsuhiko | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電気電子材料<br>Electrical and Electronic Materials |
| 渡　部　誠　二<br>WATANABE, Seiji | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | ディジタル信号処理<br>Digital Signal Processing |

## 設　　備　Equipments

| 部屋/場所/区分/応用分野等 | 主　な　設　備 |
|---|---|
| エレクトロニクス | 近赤外分光測定装置、微弱分光測定装置環境モニタリングシステム、ロジックアナライザ、分光器、光干渉計システム、レーザ装置、光パワーメータ、LCRメータ、ピコアンペアメータ、赤外線温度計、光学顕微鏡、マルチチャンネル分光計、照度計、輝度計、球形光束計、NI ELVIS、NI MyDAQ、MATLAB/Simulink、NI LabVIEWキット、サーバマシン、FPGA評価ボード、ワークステーション、オシロスコープ |
| メカトロニクス | ネットワークアナライザ、電波暗箱、標準アンテナ、スペクトラムアナライザ、信号発生器、ロジックアナライザ、オシロスコープ、マルチメータ |
| 資源エネルギー | 直流電動機、直流発電機、三相同期発電機、単相および三相誘導電動機、三相同期電動機、変圧器、動力計、シリコン整流装置、インバータ、サイリスタ実験装置、300kV衝撃電圧発生装置、100kV交流電圧発生装置、100kV直流電圧発生装置、RF電源、燃料電池特性評価装置、LCRメータ、ディジタルオシロスコープ、ディジタルマルチメータ、シーケンサ |
| 材　料　工　学 | 恒温恒湿装置、恒温槽、超高真空スパッタリング成膜装置、真空蒸着装置、エアロゾルデポジション薄膜形成装置、スピンコーター、抵抗線加熱蒸着装置、ディップコーター、スクリーン印刷機、ガス置換電気炉、プロフェッショナルメータ（pH, 導電率）、スポットUV照射装置、超純水製造機、振動試料型磁力計、極低温特性測定システム、ホール測定装置、ソースメジャーユニット（2ch）、膜厚モニター、プローバー、LCRメーター、電界放出形走査電子顕微鏡、大口径エネルギー分散型X線分析装置、イオン化ポテンシャル測定装置 |
| 基　礎　計　測 | 直流安定化電源、電圧計、電流計、発信器、ファンクションジェネレータ、ディジタルマルチメータ、オシロスコープ |

## 情報コース　Course of Information Systems Engineering

情報技術を活用したシステムの進歩は、世界の人々の生活を格段に豊かにしています。日進月歩で次々と新しい発想や技術が生まれている今日において、発想力や実践力のある技術者を目指して学習しています。

情報コースでは、情報工学にかかわるソフトウェア工学、情報ネットワーク工学、コンピュータ工学などのソフトウェア系やハードウェア系、ならびにシステムの制御に関連した専門知識を修得します。

4 年次に選択する 7 分野のうち、情報コース在籍者が選択できる分野は、ITソフトウェアとメカトロニクスの 2 分野となっています。

ITソフトウェア分野では、情報工学に関する基礎専門知識や実践能力を身につけた高度情報化社会に適応できる技術者を養成します。

機械工学、電気電子工学、情報工学、制御工学の知識を融合させたメカトロニクス分野では、人間の生活向上にかかせない産業ロボットや人間支援ロボットなどを開発、製造できる技術者を養成します。

課題発見解決型教育である実験、実習、ゼミでは、理論の裏付けを行いながら、各分野（電気電子系、機械系、情報系、制御系）間の有機的なつながりを十分な時間をかけて学びます。また、在学中に情報処理技術者試験、英語検定試験などの国家試験にチャレンジできる力を養います。最終学年では、個別指導のもとで卒業研究を行い、総合的な応用力の向上を図り、創造的・実践的技術者を目指していきます。

情報コース（3 号館）

4 年生「校外実習」企業見学により最新技術トレンドを現場に学ぶ

3 年生「実験実習」サーボモーターを用いたロボットハンド（自動お茶汲み機）の性能評価

5 年生「卒業研究」AI 機械学習を応用による複数ロボットの自律的協調制御

5 年生「卒業研究」UAV の自動充電装置

## 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 安　齋　弘　樹<br>ANZAI, Hiroki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>Ph.D. | 計算電磁気学<br>Computational Electromagnetics |
| 遠　藤　博　寿<br>ENDO, Hirotoshi | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>Ph.D. | 海洋生物学、遺伝子工学、生物情報科学<br>Marine Biology, Genetic Engineering, Bioinformatics |
| グアンゴレナ ギシェルモ<br>Guangorena Guillermo | 助　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>Ph.D. | バイオ資源応用、生命科学イノベーション<br>Applied Bioresources, Life Science Innovation |
| 金　　帝　演<br>KIM, Jeyeon | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>Ph.D. | 位置特定、センシング、農業ICT<br>Positioning, Sensing, ICT for agriculture |
| 倉　田　かりん<br>KURATA, Karin | 助　教<br>Assistant Professor | 修士（経営学）<br>M.A. | 計量書誌学、統計学<br>Bibliometrics, Statistics |
| 髙　橋　　聡<br>TAKAHASHI, Sou | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>Ph.D. | センサ工学<br>Sensor Engineering |
| 田　中　勇　帆<br>TANAKA, Yuho | 助　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>Ph.D. | 信号処理、データアナリシス<br>Signal Processing, Data Analysis |
| 森　　隆　裕<br>MORI, Takahiro | 講　　師<br>Lecturer | 博　士（工学）<br>Ph.D. | 生体医工学、バイオメカニクス<br>Biomedical Engineering, Biomechanics |

## 設　　備　Equipments

| 部屋/場所/区分 | 主　な　設　備 |
|---|---|
| 情　報　コ　ー　ス | MATLAB/Simulink、Phantom 3 advanced、AMOS、SPSS、Markforged ONIX one、Walfront Walfrontnydaor0hiz-02、三次元モデリングソフト（Rhino）、き裂進展モニタ（CGM-7）、遺伝子解析用ソフトウェア（ゼネティクス、Genetyx Ver.16）、塩基配列解析用ソフトウェア（Dotmatics、SnapGene）、微量分光光度計（Thermo Fisher、Nano Drop Lite Plus）、セルカウンター(Denovix、CellDrop-FL)、5段階インキュベータ（EYELA、Temperature-Gradient Incubator/MTI-201）、インキュベータ（NK systems、Bio-Incubator/LP-130P）、蛍光実体顕微鏡（Olympus、SZX7、U-RFL-T）、正立顕微鏡2台（Olympus、BX53、CX33）、倒立顕微鏡（Olympus、CKX41（Olympus））、Thermal Cycler（TaKaRa、Dince）、Trans-Illuminator（UVP、LMS-20）、微量遠心機（TOMY、AX-501）、オートクレーブ（TOMY、LBS-245）、自作電波暗室、自作大出力マイクロ波発信器 |

## 化学・生物コース　Course of Chemistry and Biology

今、世界は、地球温暖化が原因とも考えられている気象変動や資源の枯渇に対する不安、経済発展によるエネルギー消費量の増大等、これまでに私たちが経験してきたことのない様々な課題で溢れようとしています。どこかの国の出来事がすぐに世界を巻き込んだ問題へと変化していきます。

このような世界規模のめまぐるしい変化の中で生活水準を維持し、さらに発展させるためには、これまでに無い物質や材料の開発が絶対に必要になります。また、既にある製品のリサイクル方法や効率の良い生産方法の発見も重要な課題です。

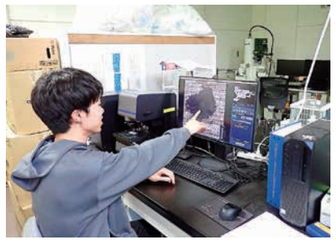
そこで「化学・生物コース」では、これからやって来る様々な課題に対応することが出来る技術者・研究者を養成することを目的として、物質・材料や、バイオテクノロジー等の基礎を学ぶために必要な学習環境を提供します。学習の基本は豊富な実験・実習であると考え、これらの時間を確保し、新技術の開発や応用についての基礎的な理論と実践を低学年から学びます。そして 4 年生からは基礎応用技術を主とした「材料工学」「資源エネルギー」「環境バイオ」の 3 分野から選択できるようになります。卒業研究では「1 人に 1 テーマ」のもとで少人数教育を行い、技術者・研究者となるために必要な知識やセンスを学ぶことができます。

2 年生 学生実験

3 年生 学生実験

4 年生 学生実験

4 年生 学生実験レポート指導



5 年生 卒業研究

## 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

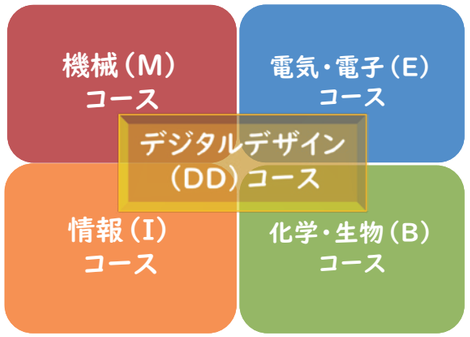
| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 阿　部　達　雄<br>ABE, Tatsuo | 助　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 環境化学、イオン交換、生物無機化学<br>Environmental Chemistry, Ion Exchange, Biological Inorganic Chemistry |
| 伊　藤　滋　啓<br>ITO, Shigeharu | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 無機化学、結晶化学、材料科学<br>Inorganic Chemistry, Crystal Chemistry, Material Science |
| 上　條　利　夫<br>KAMIJO, Toshio | 教　授<br>Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 分析化学、材料科学、トライボロジー<br>Analytical Chemistry, Material Science, Tribology |
| 久　保　響　子<br>KUBO, Kyoko | 准　教　授<br>Associate Professor | Dr. rer. nat.<br>Dr. rer. nat. | 微生物生態学、環境微生物学、分子生態学<br>Microbial Ecology, Environmental Microbiology, Molecular Ecology |
| 小　寺　喬　之<br>KODERA, Takayuki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 化学工学、無機化学、材料化学<br>Chemical Engineering, Inorganic Chemistry, Material Chemistry |
| 斎　藤　菜　摘<br>SAITO, Natsumi | 教　授<br>Professor | 博　士（薬学）<br>D.Phar. | 微生物工学、生化学<br>Microbial Engineering, Biochemistry |
| 佐　藤　　司<br>SATO, Tsukasa | 教　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 高分子化学<br>Polymer Chemistry |
| 八　須　匡　和<br>HACHISU, Masakazu | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 生体分子化学、有機合成化学<br>Biomolecular Chemistry, Synthetic Organic Chemistry |
| 松　浦　由美子<br>MATSUURA, Yumiko | 講　師<br>Lecturer | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 無機化学、触媒化学<br>Inorganic Chemistry, Catalytic Chemistry |
| 丸　山　祐　樹<br>MARUYAMA, Yuki | 助　教<br>Assistant Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 電気化学、高分子化学<br>Electrochemistry, Polymer Chemistry |
| 南　　淳<br>MINAMI, Atsushi | 教　授<br>Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 分子生態学、植物生理学<br>Molecular Ecology, Plant Physiology |
| 森　永　隆　志<br>MORINAGA, Takashi | 教　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 高分子化学、材料化学<br>Polymer Chemistry, Material Chemistry |

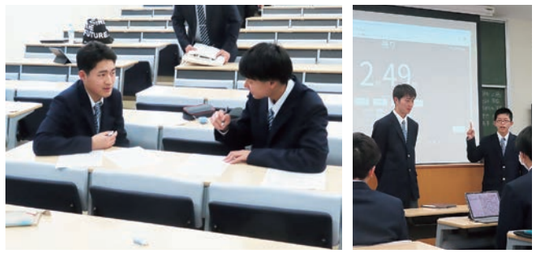
## 設　　備　Equipments

| 室名 | 部屋/場所/区分 | 主　な　設　備 |
|---|---|---|
| 分析装置 | 分　光　分　析 | 高周波誘導結合プラズマ発光分光分析装置（ICP）、誘導結合プラズマ質量分析法（ICP-MS）、ダブルビーム分光光度計、原子吸光光度計、フーリエ変換赤外分光分析装置（FT-IR）、多角度光散乱検出器、紫外可視分光光度計、蛍光分光光度計 |
| | 電　磁　気　分　析 | フーリエ変換核磁気共鳴装置（FT-NMR）、走査型X線光電子分光分析装置（XPS）、X線回折装置（XRD） |
| | 電　気　分　析 | 周波数応答解析装置、走査型電気化学顕微鏡、交流インピーダンス測定装置、電池充放電試験装置、燃料電池評価装置 |
| | 分　離　分　析 | 高速液体クロマトグラフ（HPLC）、イオンクロマトグラフ（IC）、ガスクロマトグラフ（GC）、ゲル透過クロマトグラフ（GPC）、低速タンパク質クロマトグラフ、ガスクロマトグラフィ質量分析装置（GCMS） |
| | その他の分析 | 示差熱・熱重量同時測定装置（TG-DTA）、示差走査熱天秤装置（DSC）、熱機械分析装置（TMA）、走査型電子顕微鏡（SEM）、電界放出型走査電子顕微鏡（FE-SEM）、電界放出形電子顕微鏡・エネルギー分散形X線分析装置（EDS）、レーザー顕微鏡、レーザー回折式粒度分布測定装置、比表面積測定装置、原子間力顕微鏡（AFM）、DNAシーケンサー、フローサイトメータ、リアルタイムPCR装置、遺伝子増幅装置、材料試験機、蛍光顕微鏡、透過型電子顕微鏡（TEM）、共焦点レーザー走査型顕微鏡（CLSM）、摩擦摩耗試験装置 |
| 製造装置など | 化　学　工　学　系 | 高速遠心機、ディスペンサー、UV照射装置、エレクトロスピニング、凍結粉砕機 |
| | 生　物　工　学　系 | 超低温フリーザー、エアインキュベーター、低温インキュベーター、$CO_2$インキュベーター、バイオシェーカー、超音波ホモジナイザー、動物飼育制御装置、超純水製造装置、クリーンベンチ、人工気象器、真空遠心濃縮装置 |
| | そ　の　他 | ドライルーム、低湿度グローブBOX、低酸素グローブBOX |

## デジタルデザインコース　Course of Digital Design

デジタルデザイン（以下DD）の“デザイン”には、いわゆる　“デザイン＝意匠”という意味はもちろんですが、計画・設計・発案などの様々な意味が含まれています。つまり、“DD”には、デジタル技術を使っていろいろなものを調べたり創ったりしようという意図が込められています。DDコースは、デジタル技術を軸に、機械、電気・電子、情報、化学・生物の4つの系を横断する形で令和7年度に設置された新しいコースです。他のコースと異なり、本コースの学生はDDコースに所属するとともに、上記の4つのいずれかの専門系を選択します。本コースの最も大きな特色である「デジタルデザイン実践工学」という授業では、「低学年から研究活動」をコンセプトに、学生が自らテーマを決めて自ら進んで探究活動を行います。また、コースの学生ひとりひとりにメンター教職員を配置してテーマの設定から活動までを包括的にサポートする体制をとっています。



デジタルデザイン実践工学の授業の様子

授業における活発な意見交換

コースの学生全員に探究活動用のiPad airを貸与

## 教員及び専門分野　Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

| 氏　名　Name | 職　名　Title | 学位等　Degree | 専門分野　Specialties |
|---|---|---|---|
| 荒　船　博　之<br>ARAFUNE, Hiroyuki | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 材料科学、分析化学<br>Material Science, Analytical Chemistry |
| 遠　藤　博　寿<br>ENDO, Hirotoshi | 准　教　授<br>Associate Professor | 博　士（理学）<br>Ph.D. | 海洋生物学、遺伝子工学、生物情報科学<br>Marine Biology, Genetic Engineering, Bioinformatics |
| 小野寺　良　二<br>ONODERA, Ryoji | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 計測制御、医療福祉工学<br>Instrumentation & Control, Medical and Welfare Engineering |
| 上　條　利　夫<br>KAMIJO, Toshio | 教　　授<br>Professor | 博　士（理学）<br>D.Sc. | 分析化学、材料科学、トライボロジー<br>Analytical Chemistry, Material Science, Tribology |
| 斎　藤　菜　摘<br>SAITO, Natsumi | 教　　授<br>Professor | 博　士（薬学）<br>D.Phar. | 微生物工学、生化学<br>Microbial Engineering, Biochemistry |
| 佐　藤　　司<br>SATO, Tsukasa | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 高分子化学<br>Polymer Chemistry |
| 森　永　隆　志<br>MORINAGA, Takashi | 教　　授<br>Professor | 博　士（工学）<br>D.Eng. | 高分子化学、材料化学<br>Polymer Chemistry, Material Chemistry |





## 7つの応用分野について　7 Application Fields

令和７年度に在籍している２年次以上の学生は、4～5年次には応用分野である専門４分野:デザイン工学分野、エレクトロニクス分野、ITソフトウェア分野、環境バイオ分野と融合複合３分野：メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野から各自が選択し所属します※。

この７分野は、社会動向及び地域ニーズを反映させた内容となっており、問題発見・解決能力等の実践力を養成することを目的に設置されました。

※所属コースによって一部選択不可の分野があります。

### ITソフトウェア分野
IT and Software

情報工学に関する基礎・専門知識や実践能力を身につけた高度情報化社会に適応できる技術者・研究者を養成するための研究活動を行います。

### エレクトロニクス分野
Electronics Engineering

ディジタル信号処理と電子回路を主とした「ICT・IoT 活用」、「ディジタル信号処理」、「組込みシステム」、「電力エネルギー」、「固体物性」、「数値シミュレーション」、「独立成分分析」等の専門、e- ラーニング教材を利用した IT 教育によるハードウェアからネットワークシステムに関するソフトウェアまでマルチメディアに対応できる基礎を学習します。

### デザイン工学分野
Design Engineering

機械分野を中心とした科目を学び、エンジニアリング・デザイン（種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン）能力を育成し、機械装置における、構想、企画、設計、製造、流通、保守、廃棄、再生に関連する技術を、社会情勢に即して探求します。

### 環境バイオ分野
Environmental and Biological Engineering

微生物学、分子生物学、生化学、環境化学、分析化学などの学問領域を基盤に、土壌・海洋の有用微生物探索、微生物発酵、野生植物の生態研究、水環境改善の技術開発などをテーマとした未踏領域の先進研究を行います。

### メカトロニクス分野
Mechatronics

機械、電気・電子、情報をかけ合わせた分野横断的な研究分野であり、垣根を超えた幅広い領域での研究活動を実現します。

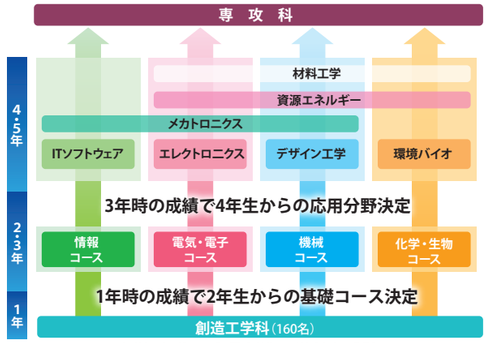
### 資源エネルギー分野
Natural Resources and Energy

材料科学、有機化学、化学工学、トライボロジーなど多岐にわたる学問領域を基盤として、低環境負荷のプロセス開発、新素材やエネルギーデバイスの創製、微粒子合成法の開発などの研究アプローチで持続可能な社会の実現を目指した課題に取り組みます。

### 材料工学分野
Materials Engineering

「超耐熱材料」、「機能性薄膜」、「燃料電池」、「太陽電池」、「MEMS」、「高分子材料」、「表面処理・湿式成膜」、「有機合成」、「バイオマス」などを専門とする分野所属教員のもと、特に「ものづくり」を研究テーマの中心に考え、デバイス化を含めた新素材に関する研究活動を行います。

■**教育体制**（令和７年度に在籍している２年生以上の学生）




中学3年生は全員創造工学科を受験

# 教育課程 Curriculum

## 一般科目

### 創造工学科

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 主要基礎科目 | 国語Ⅰ～Ⅲ | 9 | 3 | 3 | 3 | | |
| | 地理 | 3 | 3 | | | | |
| | 倫理 | 2 | 2 | | | | |
| | 歴史Ⅰ・Ⅱ | 4 | | 3 | 1 | | |
| | 政治・経済 | 2 | | | 2 | | |
| | 数学Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ | 11 | 4 | 4 | 3 | | |
| | 数学Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ | 6 | 2 | 2 | 2 | | |
| | 英語Ⅰ・Ⅲ・Ⅴ | 8 | 3 | 3 | 2 | | |
| | 英語Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ | 8 | 3 | 3 | 2 | | |
| | 化学Ⅰ・Ⅱ | 4 | 3 | 1 | | | |
| | 物理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | 5 | 1 | 2 | 2 | | |
| | 生物 | 1 | 1 | | | | |
| | 音楽 | 1 | 1 | | | | |
| | 美術 | 1 | | 1 | | | |
| | 保健・体育Ⅰ～Ⅲ | 7 | 3 | 2 | 2 | | |
| 履修単位数 | | | 29 | 24 | 19 | 0 | 0 |
| 主要科目 | 英語Ⅶ | 2 | | | | 2 | |
| | 保健・体育Ⅳ・Ⅴ | 3 | | | | 2 | 1 |
| | ドイツ語Ⅰ・Ⅱ | 3 | | | | 1 | 2 |
| | 語学演習 | 1 | | | | | 1 |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 5 | 4 |

### 学科共通必修科目

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学科共通必修科目 | 情報リテラシーⅠ・Ⅱ | 2 | 1 | 1 | | | |
| | 地域コミュニティ学 | 1 | 1 | | | | |
| | 総合工学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 創造基礎実習 | 2 | 2 | | | | |
| | 総合情報工学Ⅰ | 1 | 1 | | | | |
| | 応用数学Ⅰ・Ⅱ | 5 | | | | 3 | 2 |
| | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | |
| | 卒業研究 | 12 | | | | | 12 |
| 履修単位数 | | | 6 | 1 | 2 | 3 | 14 |

### 履修単位数合計

| 学科 | 計 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 創造工学科 | 167以上 | 35 | 32以上 | 34以上 | 35以上 | 36以上 |

1年生「総合工学Ⅰ」の授業風景

## 創造工学科（機械コース）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 総合情報工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | 情報処理 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 電気基礎 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 材料力学 | 2 | | | 2 | | | Ⅰ |
| | 材料学 | 2 | | | 2 | | | Ⅰ |
| | 工業力学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 生産加工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 機械製図 | 2 | | 2 | | | | |
| 履修単位数 | | | 0 | 8 | 14 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合工学 | 1 | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | Ⅲ・Ⅳ |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | 情報処理 | 1 | | | | 1 | | Ⅱ |
| | 数値解析 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 材料力学 | 2 | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | 材料学 | 1 | | | | 1 | | Ⅱ |
| | 機械力学 | 2 | | | | 1 | 1*(一) | Ⅰ・Ⅱ |
| | 機械要素設計 | 2 | | | | 2 | | |
| | デザイン工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 熱力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 熱力学演習 | 1 | | | | | 1 | |
| | 水力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 水力学演習 | 1 | | | | | 1 | |
| | 機構学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 工業英語 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 機械設計製図 | 7 | | | | 4 | 3 | Ⅰ・Ⅱ |
| | マイコン制御 | 1 | | | | 1*(一) | | |
| | メカトロニクス | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 制御工学 | 4 | | | | 2*(一) | 2*(一) | Ⅰ・Ⅱ |
| | 電子回路 | 1 | | | | 1*(一) | | |
| | 医療福祉機器工学 | 1 | | | | | 1 | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 29 | 14 | |
| 選択科目 | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 精密加工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | エネルギー変換工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

4年生「工学実験・実習Ⅲ」エンジンの分解・組立ての実習

## 創造工学科（電気・電子コース）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 総合情報工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | プログラミング演習 | 1 | | 1 | | | | |
| | 情報処理 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 電気回路 | 4 | | 2 | 2 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 電気磁気学 | 2 | | | 2 | | | Ⅰ |
| | 電気機器 | 1 | | | 1 | | | Ⅰ |
| | 電子工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 電気電子計測 | 2 | | | 2 | | | |
| 履修単位数 | | | | 0 | 8 | 14 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | | 1 | | |
| | 総合工学 | 1 | | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | | 3 | 2 | Ⅲ・Ⅳ |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 応用物理 | 2 | | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | 情報処理 | 1 | | | | | 1 | | Ⅲ |
| | 電気回路 | 1 | | | | | 1 | | Ⅲ |
| | 電気回路演習 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 電気磁気学 | 2 | | | | | 2 | | Ⅱ |
| | 電気磁気学演習 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 電気機器 | 2 | | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | 電気電子材料 | 2 | | | | | 2 | | |
| | 電気電子製図 | 2 | | | | | 2 | | |
| | 通信工学 | 2 | | | | | 2 | | |
| | 情報通信 | 1 | | | | | 1 | | |
| | ディジタル回路 | 2 | | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路 | 2 | | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路演習 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 発変電工学 | 2 | | | | | | 2 | |
| | 送配電工学 | 2 | | | | | | 2*(一) | |
| | 電気法規及び電気施設管理 | 1 | | | | | | 1 | |
| | 制御工学 | 2 | | | | | | 2*(一) | |
| | 計算機工学 | 2 | | | | | | 2*(一) | |
| | ネットワーク演習 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | パワーエレクトロニクス | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | 工業英語 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | 機械工学概論 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | | 0 | 0 | 0 | 28 | 15 | |
| 選択科目 | ディジタル信号処理 | 2 | | | | | 2*(一) | | |
| | 高電圧工学 | 2 | | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路設計 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | 電気機器設計 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | マイクロコンピュータ | 2 | | | | | | 2*(一) | |
| | 電気応用 | 2 | | | | | | 2*(一) | |
| | 生産工学 | 1 | | | | | | 1*(一) | |
| | 医療福祉機器工学 | 1 | | | | | | 1 | |
| 履修単位数 | | | | 0 | 0 | 0 | 4 | 8 | |

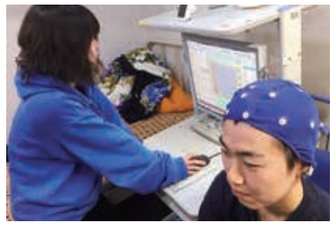
*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

5年生「工学実験・実習Ⅳ」電子回路実験

## 創造工学科（情報コース）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 総合情報工学 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅱ・Ⅲ |
| | ソフトウェア概論 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | コンピュータ概論 | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | ソフトウェア演習 | 3 | | 1 | 2 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | ディジタル・ファブリケーション | 2 | | 1 | 1 | | | Ⅰ・Ⅱ |
| | 電気・電子回路 | 2 | | | 2 | | | Ⅰ |
| | 組込みシステム概論 | 1 | | | 1 | | | |
| | データサイエンス概論 | 1 | | | 1 | | | |
| | 情報数学 | 1 | | | 1 | | | Ⅰ |
| 履修単位数 | | | | 0 | 8 | 14 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合工学 | 1 | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | Ⅲ・Ⅳ |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | 1 | | Ⅳ |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | 信号処理 | 2 | | | | 2 | | |
| | 情報ネットワーク | 1 | | | | | 1 | |
| | 数値解析 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 論理回路 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 計測工学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 工業英語 | 2 | | | | 1 | 1 | Ⅰ・Ⅱ |
| | 情報理論 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | ソフトウェア構成論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 情報セキュリティ | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 組込みシステム応用 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | IoTシステム | 1 | | | | | 1 | |
| | データベース応用 | 1 | | | | 1 | | |
| | ソフトウェア演習 | 2 | | | | | 2 | Ⅳ |
| | ソフトウェア開発 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 電気・電子回路 | 1 | | | | 1 | | Ⅱ |
| | ソフトウェア演習 | 1 | | | | 1 | | Ⅲ |
| | 計算機構成論 | 2 | | | | | 2 | |
| | システム制御 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | | 0 | 0 | 0 | 26 | 14 | |
| 選択科目 | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 制御工学 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 情報数学 | 2 | | | | 2*(一) | | Ⅱ |
| | ロボット工学 | 1 | | | | | 1 | |
| | コンピュータビジョン | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | デジタル通信 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | | 0 | 0 | 0 | 4 | 6 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である



4年生「総合工学Ⅳ」脳電位のサンプリングと成分解析

## 創造工学科（化学・生物コース）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合工学 | 2 | | 1 | 1 | | | II・III |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | I・II |
| | 総合情報工学 | 2 | | 1 | 1 | | | II・III |
| | 分析化学 | 2 | | 2 | | | | |
| | 無機化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 有機化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 物理化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 基礎生物学 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 化学工学 | 1 | | | 1 | | | I |
| | 物質化学実験 | 3 | | 1 | 2 | | | I・II |
| 履修単位数 | | | 0 | 8 | 14 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | III・IV |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 物理化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 機器分析 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 無機化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 有機化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 生物化学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 環境とエネルギー | 1 | | | | | 1 | |
| | 工業英語 | 2 | | | | 1 | 1 | I・II |
| | 材料化学 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 化学工学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 計測制御 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 生物工学基礎 | 1 | | | | 1 | | |
| | 外国語雑誌会 | 1 | | | | | 1 | |
| | 有機材料化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 電気化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 地球環境科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 無機材料化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 応用有機化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 生物物理化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 分子生物学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 物質化学実験 | 1 | | | | 1 | | III |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 25 | 18 | |
| 選択科目 | 半導体工学 | 1 | | | | 1*(一) | | |
| | 薬学概論 | 1 | | | | | | |
| | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

4年生 学生実験

## 創造工学科（デジタルデザインコース機械系）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合デジタルデザイン工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン応用工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | 2 | 2 | | | II・III |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | I〜II |
| | 機械製図 | 2 | | 2 | | | | |
| | 材料力学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 情報処理 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 電気基礎 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 材料学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 工業力学 | 2 | | | 2 | | | |
| 履修単位数 | | | 2 | 10 | 14 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合デジタルデザイン工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン応用工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | | | 2 | 2 | IV・V |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | III・IV |
| | 情報処理 | 1 | | | | 1 | | III |
| | 材料学 | 1 | | | | 1 | | II |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 材料力学 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 機械力学 | 2 | | | | 1 | 1*(一) | I・II |
| | 機械要素設計 | 2 | | | | 2 | | |
| | 熱力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 水力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 機構学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 電子回路 | 1 | | | | 1*(一) | | |
| | 制御工学 | 4 | | | | 2*(一) | 2*(一) | I・II |
| | 数値解析 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 熱力学演習 | 1 | | | | | 1 | |
| | 水力学演習 | 1 | | | | | 1 | |
| | 工業英語 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | メカトロニクス | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 機械設計製図 | 7 | | | | 4 | 3 | I・II |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 29 | 15 | |
| 選択科目 | デジタルデザイン実践工学 | 1 | 1 | | | | | I |
| | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 精密加工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | エネルギー変換工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

## 創造工学科（デジタルデザインコース電気・電子系）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合デジタルデザイン工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン応用工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | 2 | 2 | | | II・III |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | I・II |
| | プログラミング演習 | 1 | | 1 | | | | |
| | 情報処理 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 電気回路 | 4 | | 2 | 2 | | | I・II |
| | 電気磁気学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 電気機器 | 1 | | | 1 | | | I |
| | 電子工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 電気電子計測 | 2 | | | 2 | | | |
| 履修単位数 | | | 2 | 10 | 16 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合デジタルデザイン工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン応用工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | | | 2 | 2 | IV・V |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | III・IV |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 情報処理 | 1 | | | | 1 | | III |
| | 電気回路 | 1 | | | | 1 | | III |
| | 電気回路演習 | 1 | | | | 1 | | |
| | 電気磁気学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 電気磁気学演習 | 1 | | | | 1 | | |
| | 電気機器 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 電気電子材料 | 2 | | | | 2 | | |
| | 電気電子製図 | 2 | | | | 2 | | |
| | 情報通信 | 1 | | | | 1 | | |
| | ディジタル回路 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路演習 | 1 | | | | 1 | | |
| | 発変電工学 | 2 | | | | | 2 | |
| | 送配電工学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 電気法規及び電気施設管理 | 1 | | | | | 1 | |
| | 制御工学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | ネットワーク演習 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | パワーエレクトロニクス | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 工業英語 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 28 | 14 | |
| 選択科目 | デジタルデザイン実践工学 | 1 | 1 | | | | | I |
| | ディジタル信号処理 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 高電圧工学 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 電子回路設計 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 電気機器設計 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | マイクロコンピュータ | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 電気応用 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 計算機工学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| 履修単位数 | | | 1 | 0 | 0 | 4 | 9 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

## 創造工学科（デジタルデザインコース情報系）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合デジタルデザイン工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン応用工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | 2 | 2 | | | II・III |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | I・II |
| | ソフトウェア演習 | 3 | | 1 | 2 | | | I・II |
| | ソフトウェア概論 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | コンピュータ概論 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 電気・電子回路 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 組込みシステム概論 | 1 | | | 1 | | | |
| | データサイエンス概論 | 1 | | | 1 | | | |
| | 情報数学 | 1 | | | 1 | | | I |
| 履修単位数 | | | 2 | 9 | 15 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合デジタルデザイン工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン応用工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | | | 2 | 2 | IV・V |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | III・IV |
| | 電気・電子回路 | 1 | | | | 1 | | II |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 信号処理 | 2 | | | | 2 | | |
| | 論理回路 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 工業英語 | 2 | | | | 1 | 1 | I・II |
| | 情報理論 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | ソフトウェア構成論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 情報セキュリティ | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 組込みシステム応用 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | データベース応用 | 1 | | | | 1 | | |
| | 情報ネットワーク | 1 | | | | | 1 | |
| | 計測工学 | 1 | | | | | 1 | |
| | IoTシステム | 1 | | | | | 1 | |
| | ソフトウェア演習 | 3 | | | | 1 | 2 | III・IV |
| | ソフトウェア開発 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 計算機構成論 | 2 | | | | | 2 | |
| | 数値解析 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | システム制御 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 28 | 16 | |
| 選択科目 | デジタルデザイン実践工学 | 1 | 1 | | | | | I |
| | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | ディジタル・ファブリケーション | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 制御工学 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 情報数学 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | ロボット工学 | 1 | | | | | 1 | |
| | コンピュータビジョン | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | デジタル通信 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | 1 | 1 | 1 | 4 | 6 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

## 創造工学科（デジタルデザインコース化学・生物系）

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 学年別履修単位数 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目（主要基礎科目） | 総合デジタルデザイン工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合情報工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン応用工学 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | I〜III |
| | 総合工学 | 1 | | | | | | I |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | 2 | 2 | | | II・III |
| | 工学実験・実習 | 4 | | 2 | 2 | | | I・II |
| | 分析化学 | 2 | | 2 | | | | |
| | 物理化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 無機化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 有機化学 | 2 | | | 2 | | | I |
| | 化学工学 | 1 | | | 1 | | | I |
| | 基礎生物学 | 2 | | 1 | 1 | | | I・II |
| | 物質化学実験 | 3 | | 1 | 2 | | | I・II |
| 履修単位数 | | | 2 | 10 | 16 | 0 | 0 | |
| 必修科目（主要科目） | 総合工学ゼミ | 1 | | | | 1 | | |
| | 総合デジタルデザイン工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン応用工学 | 1 | | | | 1 | | IV |
| | デジタルデザイン実践工学 | 4 | | | | 2 | 2 | IV・V |
| | 工学実験・実習 | 5 | | | | 3 | 2 | III・IV |
| | 応用物理 | 2 | | | | 2*(一) | | II |
| | 物理化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 機器分析 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 無機化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 有機化学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 環境とエネルギー | 1 | | | | | 1 | |
| | 工業英語 | 2 | | | | 1 | 1 | I・II |
| | 材料化学 | 2 | | | | 2*(一) | | |
| | 化学工学 | 2 | | | | 2 | | II |
| | 生物工学基礎 | 1 | | | | 1 | | |
| | 外国語雑誌会 | 1 | | | | | 1 | |
| | 有機材料化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 電気化学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 地球環境科学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 物質化学実験 | 1 | | | | 1 | | III |
| | 生物化学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 計測制御 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | 0 | 0 | 0 | 27 | 12 | |
| 選択科目 | デジタルデザイン実践工学 | 1 | 1 | | | | | I |
| | 半導体工学 | 1 | | | | 1*(一) | 1*(一) | |
| | 薬学概論 | 1 | | | | | | |
| | 生産工学 | 1 | | | | | 1*(一) | |
| | 無機材料化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 応用有機化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 生物物理化学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| | 分子生物学 | 2 | | | | | 2*(一) | |
| 履修単位数 | | | 1 | 0 | 0 | 1 | 10 | |

*印は学則第13条３項に基づく学修単位
*(一) は講義、*(二)は演習、ゼミ、*(三)は実験、実習である

デジタルサロンでの発表風景

学習・交流ラウンジ

校内コンビニの文房具コーナー

情報演習室２

新設された国際寮の交流スペース





# 7. 専攻科 Department of Advanced Engineering Course

## 生産システム工学専攻 Production System Engineering

専攻科は、本科５年間の高専教育を基礎とし、さらに２年間、大学と同等レベルの専門的な技術者教育を行う教育課程として平成15年４月に設置され、平成27年４月に現在の１専攻３コース制となりました。

専攻科の教育課程では、一つのテーマについて２年間継続して取り組み、その成果を地域企業参加型の専攻科研究発表会や国内外の学術講演会、学術論文等で発表する専攻科研究を行います。また、他のコースの基礎的な専門知識や技術を同時に学び、広範な融合複合技術と柔軟な思考力を養います。さらに、チームワークによる課題解決型のエンジニアリングデザイン科目やインターンシップ、外部講師が先端技術を紹介する総合技術論等、特色のあるカリキュラム編成を行っています。

専攻科を修了することで、大学改革支援・学位授与機構から、大学工学部卒と同等の学士（工学）の学位が授与されます。したがって、専攻科を修了した学生は、大学院への進学も可能です。

専攻科では、右記に示した４項目の能力の修得を目標として掲げており、あらゆる分野の生産システムに関わる技術的課題に対応でき、幅広い知識を統合した構想力や対応力に優れ、かつ国際的に活躍できるコミュニケーションスキルを身につけた人材育成を目指します。

３つのコースでは、それぞれの専門分野の高度な知識を習得し、システムや新素材等の設計や開発技術能力を持った実践的開発型技術者を育成します。

1. 多様な価値観を理解できる協働性を持ち、世界的視野で物事を考えることができる能力
2. 社会や自然に関わる科学的知識、融合複合分野に関する基礎的知識および専門分野における基盤知識を活用できる能力
3. 科学技術分野における諸課題について、主体的に計画して取り組み、知識を統合・発展させて解決できる能力
4. 論理的な思考力、記述力、成果発表と議論の能力及び国際的コミュニケーション能力

### 機械・制御コース Course of Mechanical and Control Engineering

機械や材料、エネルギー、計測・制御等の分野についての教育研究を行い、各種機械、ロボット、制御機器等を資源や環境にも配慮して開発できる能力を養います。

学位申請における専攻区分は「機械工学」で、設計系、制御系、材料系の科目を中心に履修します。

専攻科実験　機械分野

### 電気電子・情報コース Course of Electric, Electronics and Information Engineering

社会基盤の構築に重要なパワーエレクトロニクス、エネルギー変換工学、半導体工学、通信工学、情報ネットワーク、プログラミング言語、アルゴリズムなどの専門知識を系統的かつ有機的に修得します。さらに、ICT、IoTを活用した社会システムや、資源や環境に配慮した新規電子材料を開発できる能力を養います。

学位申請における専攻区分は「電気電子工学」で、システム系、通信系、情報系の科目を中心に履修します。

専攻科実験　電気電子分野

### 応用化学コース Course of Applied Chemistry

化学や材料を中心にエネルギー、環境、生物に至るまで、応用化学コースの教育研究の分野は多岐にわたります。新素材や機能性材料、医薬品や農薬等の化学物質などを、資源や環境に配慮して開発できる能力を養います。

学士申請における専攻区分は「応用化学」で、化学系、材料系、生物系の科目を中心に履修します。

創造工学実習

# 教育課程 Curriculum

## 一般科目・共通専門科目（各コース共通）

| 区分 | 必修選択の別 | 授業科目 | 単位数 | 学年・学期別割当 1年 前期 | 1年 後期 | 2年 前期 | 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般科目 | 必修科目 | 総合実践英語 I | 2 | 2 | | | | |
| | | 総合実践英語 II | 2 | | 2 | | | |
| | | 小計 | 4 | 2 | 2 | | | |
| | 選択科目 | 地域政策論 | 2 | | | | 2 | 1科目以上修得すること |
| | | 環境社会学 | 2 | | | | 2 | |
| | | 日本学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | | 小計 | 6 | | 2 | | 4 | |
| 開設単位合計 | | | 10 | 2 | 4 | | 4 | |
| 専門科目 | 必修科目 | 総合技術論 | 2 | 2 | | | | |
| | | 実践的デザイン工学実習 | 2 | 2 | | | | |
| | | 応用代数 | 2 | 2 | | | | |
| | | 物理学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | | 創造工学実習 | 2 | 1 | 1 | | | |
| | | 技術者倫理 | 2 | | 2 | | | |
| | | 専攻科研究 I | 8 | 4 | 4 | | | |
| | | 専攻科研究 II | 8 | | | 4 | 4 | |
| | | 専攻科実験 | 2 | 2 | | | | |
| | | 小計 | 30 | 13 | 9 | 4 | 4 | |
| | 必修選択科目 | インターンシップ | 2 | 2 | | | | どちらかを必ず修得すること |
| | | 長期インターンシップ | 3〜4 | 3〜4 | | | | |
| | | 応用解析特論 | 2 | | | | 2 | 3科目以上修得すること |
| | | 固体物理学 | 2 | | 2 | | | |
| | | データ解析 | 2 | | | 2 | | |
| | | 経営工学 | 2 | 2 | | | | |
| | | 数値計算 | 2 | | | 2 | | |
| | | 安全工学 | 2 | 2 | | | | |
| | | 学際融合研究 | 2 | | 2 | | | |
| | | 小計 | 16以上 | 16以上 | | | | |
| 開設単位合計 | | | 46以上 | 19以上 | 13以上 | 8以上 | 6以上 | |

実践的デザイン工学実習（フィールドワーク集合写真）

実践的デザイン工学実習（漂着ゴミ回収作業準備）

―地域企業参加型― 専攻科 1 年生研究発表会

## 機械・制御コース（MCコース）

| 必修選択の別 | 授業科目 | 単位数 | 学年・学期別割当 1年 前期 | 1年 後期 | 2年 前期 | 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 実践電気電子工学 | 2 | | | 2 | | |
| | 材料科学 | 2 | | | 2 | | |
| | 材料力学特論 | 2 | 2 | | | | |
| | 流体機械 | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 8 | 2 | 2 | 4 | | |
| 選択科目 | 材料設計学 | 2 | | | 2 | | 5科目以上修得すること |
| | 塑性加工学 | 2 | 2 | | | | |
| | 応用機構学 | 2 | | | | 2 | |
| | センサ工学 | 2 | | | | 2 | |
| | 制御工学特論 | 2 | | 2 | | | |
| | 設計工学 | 2 | | 2 | | | |
| | システム計画学 | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 14 | 2 | 6 | 2 | 4 | |
| 開設単位合計 | | 22 | 4 | 8 | 6 | 4 | |

## 電気電子・情報コース（EIコース）

| 必修選択の別 | 授業科目 | 単位数 | 学年・学期別割当 1年 前期 | 1年 後期 | 2年 前期 | 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 基礎工業力学 | 2 | | | 2 | | |
| | 材料科学 | 2 | | | 2 | | |
| | 集積回路設計 | 2 | 2 | | | | |
| | データサイエンス | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 8 | 2 | 2 | 4 | | |
| 選択科目 | シミュレーション工学 | 2 | 2 | | | | 5科目以上修得すること |
| | 電磁気応用工学 | 2 | | 2 | | | |
| | 伝送システム工学 | 2 | | | | 2 | |
| | 信号処理特論 | 2 | 2 | | | | |
| | センサ工学 | 2 | | | | 2 | |
| | 計算機システム | 2 | | 2 | | | |
| | 応用コンピュータグラフィクス | 2 | | | | 2 | |
| | システム計画学 | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 16 | 4 | 6 | 0 | 6 | |
| 開設単位合計 | | 24 | 6 | 8 | 4 | 6 | |

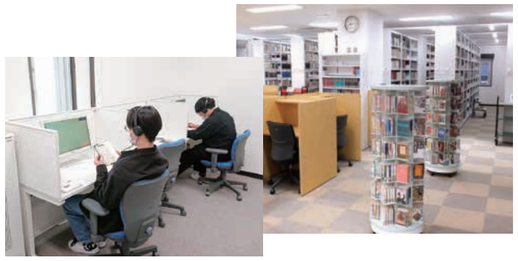
## 応用化学コース（ACコース）

| 必修選択の別 | 授業科目 | 単位数 | 学年・学期別割当 1年 前期 | 1年 後期 | 2年 前期 | 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 実践電気電子工学 | 2 | | | 2 | | |
| | 基礎工業力学 | 2 | | | 2 | | |
| | 工業分析化学 | 2 | 2 | | | | |
| | 高分子材料化学 | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 8 | 2 | 2 | 4 | | |
| 選択科目 | 構造有機化学 | 2 | | | 2 | | 5科目以上修得すること |
| | 生物資源利用化学 | 2 | 2 | | | | |
| | 反応速度論 | 2 | | 2 | | | |
| | 応用電気化学 | 2 | | | | 2 | |
| | 生物機能工学 | 2 | | 2 | | | |
| | 環境化学 | 2 | | | | 2 | |
| | ゲノム工学 | 2 | | 2 | | | |
| | 小計 | 14 | 2 | 6 | 2 | 4 | |
| 開設単位合計 | | 22 | 4 | 8 | 6 | 4 | |

## 8. 図書館（図書広報室） Library（Library & Public Relations Office）

図書館（図書広報室）では、図書の閲覧・帯出（貸し出し）や、CDやDVD等の視聴覚資料を視聴できるメディアルームの利用が可能です。また、読書や自学自習等に利用できる、個人用閲覧席も約40席設置されています。

**開館時間**　平　日　8時30分～19時
　　土曜日　9時～17時
※学生の長期休業期間中は、平日8時30分～17時のみ開館
**閉 館 日**　日曜日、祝祭日等
　　長期休業期間中の土曜日、学校行事日



### 蔵 書 数 Collection of Books（vols.）

令和7年5月1日現在

| 区分 / 分類 | 図書（冊数） 和書 | 洋書 | 合計 | 購入雑誌（種類数） 和文 | 欧文 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総記 | 3,208 | 168 | 3,376 | 1 | 0 | 1 |
| 哲学 | 2,780 | 149 | 2,929 | 1 | 0 | 1 |
| 歴史 | 4,518 | 195 | 4,713 | 0 | 0 | 0 |
| 社会科学 | 5,238 | 198 | 5,436 | 3 | 0 | 3 |
| 自然科学 | 11,596 | 2,706 | 14,302 | 5 | 0 | 5 |
| 工学 | 13,353 | 629 | 13,982 | 6 | 0 | 6 |
| 産業 | 636 | 3 | 639 | 1 | 0 | 1 |
| 芸術 | 2,384 | 29 | 2,413 | 9 | 0 | 9 |
| 語学 | 2,733 | 529 | 3,262 | 1 | 0 | 1 |
| 文学 | 9,596 | 1,142 | 10,738 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 56,042 | 5,748 | 61,790 | 28 | 0 | 28 |

### 利 用 状 況 Using of Library

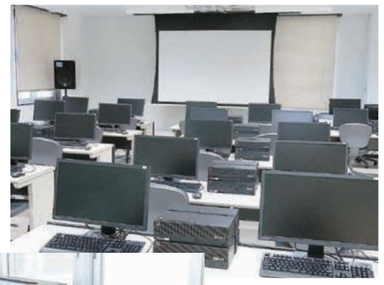
令和6年度

| | |
|---|---|
| 開館日数 | 257日 |
| 学生貸出人数 | 1,425人 |
| 学生貸出冊数 | 2,423 冊 |
| 学生1人平均 | 2冊/人 |
| 入館者数 | 22,084 人 |
| 入館者平均 | 86 人/日 |

## 9. 情報メディアセンター Information Media Center

情報メディアセンターは、本校の共通施設として運用されています。情報演習室には、パソコンや3Dプリンタなどの設備が設置され、情報リテラシー教育やプログラミングなどの授業（実習）で使用しています。昼休みや放課後等の授業で使用していない時間は、学生は自由にPCを使用することが可能です。

その他にも、学生が自由にPC等を持ち込んで利用が可能なデジタルサロンなどが設置されているほか、ノートパソコンの貸し出しサービスなども行っています。



**開館時間**　平　日　8時30分～18時45分
**閉 館 日**　土日祝祭日、長期休業期間、
　　学校行事日





## 10. 教育研究技術支援センター Technical Support Center

教育研究技術支援センターは、教育研究支援体制の強化を目的として平成21年1月1日に発足した組織です。センター長及び技術職員で構成されており、教育研究のための技術開発や試作、分析など技術業務全般に関すること、実験・実習施設における機材等の保全管理、ICT活用教育や教育用及び業務用情報システム運用管理支援、加えて地域に根差した“ものづくり講座”の開催など、高等教育機関としての高専において教育研究の一翼を担うべく広範囲な支援活動を行っています。

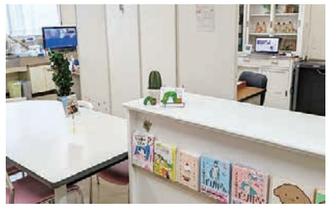
技術職員は、機械、電気・電子、情報、化学・生物系それぞれの分野で実践的かつ高度な知識を有しています。さらに、昨今の技術発展をキャッチアップするため、学会、技術発表会、各種研修会、資格取得などを通じた自己研鑽や外部資金獲得などに努めています。

## 11. 保健センター Health Center

保健センターは、健診や調査の実施、各種相談の受付、様々な支援の検討・立案、また、外部専門機関と連携等を通して、学生及び教職員の心身の健康維持・増進を図り、修学や就業の健全性を保持することを目的としています。

### 保健室 Health Care Room

学生・教職員の健康管理を担当。学校保健計画の立案や健康診断の実施、不測の疾病及び傷害への対応を行います。



### 相談室 Counselling Room

学生・教職員に対する相談活動や支援活動、メンタルヘルスケアに関する啓発活動を行います。スクールカウンセラー等によるカウンセリングと教育相談を行っています。

［相談活動の内容］

- 学生の学校生活に関する相談
- 学生の家庭環境に関する相談
- 教職員の就業環境に関する相談
- 学生及び教職員のハラスメントに関する相談

■時　間／平日8時30分～17時
■担　当／スクールカウンセラー（公認心理師）毎週水曜日　14時～17時（オンライン）
　　ソーシャルワーカー　（社会福祉士）毎週月曜日・水曜日・木曜日　14時～17時
　　スクールカウンセラー（臨床心理士）毎週木曜日　14時～17時（オンライン）
　　精神科医　毎月1回　15時～17時（対面・要予約）
　　相談員（特別支援教育士）毎週月曜日　14時～17時（対面）
　　相談員（教育相談員）　毎週金曜日　15時30分～17時（対面）
　　相談員（学内保健センター員）　随時

# 12. 国際交流　International Exchanges

## 国際交流支援室　International Affairs Office

国際交流支援室は、海外教育機関との学術協定締結やそれに基づく交流実施、日本人学生の留学支援、海外協定校からの留学生受入などを主な役割として2009年９月に設置されました。学内外での異文化コミュニケーション環境を幅広く提供することで学生の国際交流を推進し、グローバルな舞台での活躍を目指す学生のサポートを行っています。

## 海外教育機関との学術交流協定　Academic Agreements

（2025年5月1日現在）

| 国 | 協定先機関名 |
|---|---|
| フランス | リールA技術短期大学<br>アルトワ大学 |
| フィンランド | トゥルク応用科学大学<br>ヘルシンキメトロポリア応用科学大学 |
| タイ | キングモンクット工科大学ラカバン校<br>泰日工業大学 |
| シンガポール | 5ポリテクニック |
| ベトナム | 電力大学<br>ハノイ産業大学<br>フエ工業短期大学<br>ハノイ工科大学機械工学校 |
| インドネシア | ガジャマダ大学 |
| 台湾 | 国立聯合大学<br>長庚大学 |
| モンゴル | モンゴル高専連盟 |
| オーストラリア | ニューカッスル大学 |
| ニュージーランド | Te Pukenga（全工科大学） |
| アメリカ | レッドロックス・コミュニティカレッジ |
| メキシコ | グアナファト大学 |

## 短期留学生の受入　Accepting Students

海外協定校から短期留学生を受入しています。滞在期間中は配属先の研究室で研究活動を行うほか、日本文化体験や本校学生との交流を行います。本校学生がチューターとして研究や生活のサポートを行うほか、ウェルカムパーティー等のイベントを企画実施するなど、双方の学生にとって充実した異文化交流の機会となっています。学内での留学生との交流は、本校学生の海外への関心を高めるとともに、留学へと踏み出す一助にもなっています。

《国別　受入実績》

| 国・地域 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---|---|---|---|
| フィンランド | 1 | 1 | 2 |
| フランス | 0 | 1 | 0 |
| タイ | 2 | 1 | 0 |
| 台湾 | 1 | 2 | 0 |
| 合計 | 4 | 5 | 2 |

留学説明会・報告会

授業風景（シンガポール・研修派遣）

現地学生と一緒に（シンガポール・研修派遣）

Welcome Partyにて自国の紹介をする留学生

フィンランドからの留学生との香道体験





## 学生の海外派遣　Sending Students

本校には多彩な留学プログラムがあるため、夏季・春季の長期休暇を利用し、多くの学生が海外留学を経験しています。

初めて海外へ行く学生も参加しやすい短期間のプログラム、英語での授業や現地学生との交流を主とした研修派遣、海外協定校の研究室で研究や実習を行う研究派遣など、幅広い内容のプログラムを実施しています。さらに、他高専などから募集のあるプログラムにも参加できるため、自分の希望に合った留学プログラムを選ぶことができます。

また、学生への留学支援として様々な奨学金獲得にも積極的に取り組んでいます。参加学生は本校独自の助成金だけでなく、日本学生支援機構などの奨学金を留学費用の一部として充当できます。

2024年度はニュージーランドへの研修派遣が5年ぶりに実施されたほか、スタディツアーや研究派遣などにも多くの学生が参加しました。今後も海外へ羽ばたく学生を支援していきます。

《2024年度　派遣実績》

| プログラム形態 | 国・地域 | 期間 | 派遣人数 |
|---|---|---|---|
| スタディツアー | 台湾 | 4日間 | 8 |
| 研修派遣 | マレーシア | 2週間 | 2 |
| | ベトナム | 1週間 | 2 |
| | ニュージーランド | 15日間 | 15 |
| | シンガポール | 15日間 | 27 |
| | ラトビア | 13日間 | 1 |
| 研究派遣 | ベトナム | 3週間 | 1 |
| | シンガポール | 1か月間 | 1 |
| | フランス | 1か月間 | 1 |

※実施する派遣プログラムは年度により異なります。

《学年別　派遣実績》

| 学年 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---|---|---|---|
| 1年 | 0 | 0 | 5 |
| 2年 | 0 | 25 | 14 |
| 3年 | 0 | 13 | 24 |
| 4年 | 0 | 7 | 7 |
| 5年 | 1 | 2 | 7 |
| 専攻科 | 1 | 3 | 1 |
| 合計 | 2 | 50 | 58 |

ニュージーランド
留学中の一コマ

**留学プログラム、活動報告などの詳しい情報は国際交流支援室ホームページに掲載しています。**

国際交流支援室
ホームページは
こちらから！

留学中の一コマ（台湾・スタディツアー）

研究活動の様子（フランス・研究派遣）

現地学生との交流（ラトビア・研修派遣）

授業風景（ニュージーランド・研修派遣）

ホストファミリーと一緒に
（ニュージーランド・研修派遣）

# 13. 地域連携センター　Regional Partnership Center

## 地域連携センターの活動　Activities of Regional Partnership Center

当センターは、地域企業・大学・自治体との技術・研究交流により地域社会の発展に寄与するとともに、地域との連携を通じて本校の教育研究の充実、発展に資する役割を担っています。鶴岡高専の研究成果や技術を役立てられるよう活動に取り組んでおります。

## 学術情報交換活動　Activities for Academic Information Exchange

本校教員および民間企業や学術機関からお招きした方を講師として、市民をはじめとした地域の方々に学術情報提供を行うフォーラムやセミナー等のイベントを企画運営しております。また、外部からの要請に基づいたイベント等にも参加し、積極的な地域貢献活動にも取り組んでおります。技術教育としては、公開講座や実験教室、その他の講習会などで、教職員と学生が専門分野や基礎専門分野において協力いたします。

産学連携セミナー

つるおか大産業まつりでの実験コーナー

### 学術交流協定締結状況（最近10年間）

| 締結年月 | 協定締結機関 |
|---|---|
| H27.2.5 | 東北公益文科大学 |
| H27.3.1 | 長岡技科大、豊橋技科大、九州工業大、北陸先端科学技術大学院大学 |
| H28.1.21 | 慶應義塾大学（総合政策学部・環境情報学部） |
| H28.12.6 | 学校法人岩崎学園　情報セキュリティ大学院大学 |
| H30.9.20 | 学校法人天真林昌学園　酒田南高等学校 |

その他協定締結機関一覧
東北大学大学院医工学研究科、東北大学大学院（工学研究科、情報学研究科、環境科学研究科）、山形大学農学部、山形大学工学部・山形大学院理工学研究科

### 産学官連携協力推進に係る協定締結状況（最近10年間）

| 締結年月 | 協定締結機関 |
|---|---|
| H27.7.17 | 鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町 |
| H29.9.29 | 株式会社きらやか銀行<br>きらやかコンサルティング＆パートナーズ株式会社 |
| H30.12.14 | 株式会社山形銀行 |
| H31.3.20 | 全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形） |
| R1.7.8 | 東北エプソン株式会社 |
| R3.3.9 | 山形県最上総合支庁 |
| R3.3.30 | メディア総研株式会社 |
| R5.9.21 | 株式会社野村総合研究所 |
| R5.11.7 | 山形大学農学部・東北公益文科大学・株式会社荘内銀行 |

その他協定締結機関一覧
株式会社荘内銀行、株式会社山形銀行、商工組合中央金庫山形支店、商工組合中央金庫酒田支店
鶴岡信用金庫、山形県商工観光部

## 研究活動　Research Activities

教員・技術職員と企業や大学等との共同研究や受託研究の推進を支援しています。また、企業などからの技術相談や調査依頼にも協力し、地域社会と連携した研究活動の実施を促進しています。教員の研究力向上の取り組みとして科研費獲得セミナー等を開催し、研究費の自立化を支援する活動も行っています。

科研費セミナー

## 学外連携　External Partnership

①令和６年より、科学技術振興機構（JST）「大学発新産業創出基金　スタートアップ・エコシステム共創プログラム（MASP）」に参画し、他機関との相互作用を生み出し、社会変革の原動力となる新たなスタートアップ教育の創出に向けて活動しています。本プログラム専任のコーディネーターも新たに採用し、企業のニーズと本校の技術のマッチングを促進させ、起業家の創出に向けた本プログラムの活動に取り組んでいます。

②令和6年より、東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム（T-Seeds）に参画し、東北エリアにおける半導体人材の裾野拡大や基盤強化に協力しています。

③鶴岡市サイエンスパーク内に、K-ARC（Kosen-Applied science Research Center）を設置し、鶴岡サイエンスパーク関連機関をはじめとする学外研究連携の拠点として機能しています。また、全国高専との研究ネットワーク構築を支援し、研究活動の推進に取り組んでいます。

鶴岡高専ホームページ　地域連携センター K-ARCより

「高専の研究力」2024年発行より

# 14. 教員の研究活動 Research Activities

## 在外研究員 Overseas Research Personnel

（最近３年間）

| 年度 | 氏　名 | 所　属 | 研究期間 | 受入機関 | 研究題目 |
|---|---|---|---|---|---|
| R４ | 久保　響子 | 創造工学科（化学･生物コース） | R4.4.21 ～ R5.3.31 | （ドイツ）マックス・プランク海洋微生物学研究所 | 海洋性好気性光合成細菌の多様性、豊富さ、及びその生態の解明 |
| R５ | （実績なし） | | | | |
| R６ | 伊藤滋啓 | 創造工学科（化学･生物コース） | R6.4.8 ～ R7.3.25 | （オーストラリア）クイーンズランド大学 | オペランドマイクロアナリシスと計算によるモデリングを組み合わせた中温域SOFC中アノード層内表面上の活性サイトの設計 |

## 受　賞　等 Awards and Prizes

（最近３年間）

| 年度 | 氏　名 | 所　属 | 賞の名称（一部略称） |
|---|---|---|---|
| R４ | 森永隆志 | 創造工学科（化学・生物コース） | 令和４年度国立高等専門学校教員顕彰優秀賞 |
| R５ | 伊藤滋啓 | 創造工学科（化学・生物コース） | 第22回山形県科学技術奨励賞 |
| | 宍戸道明 | 創造工学科（機械コース） | 日本設計工学会 学生優秀発表指導教員賞 |
| | 上條利夫 | 創造工学科（化学・生物コース） | 日本化学会 第41回化学教育有功賞 |
| R６ | 荒船博之 | 創造工学科（機械コース） | 第23回山形県科学技術奨励賞 |

## 外部資金の受入状況 Acceptance of External Funds

### 科学研究費助成事業

（最近３年間）

| 研究種目名 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|
| 基盤研究（B） | 3 | 3 | 3 |
| 基盤研究（C） | 12 | 11 | 8 |
| 若手研究 | 3 | 1 | 0 |
| 研究活動スタート支援 | 0 | 0 | 1 |
| 挑戦的萌芽研究 | 0 | 0 | 0 |
| 奨励研究 | 1 | 2 | 3 |

### 外部資金

（最近３年間）

| 研究種目名 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|
| 共同研究 | 25 | 23 | 16 |
| 受託研究 | 11 | 12 | 13 |
| 寄附金 | 18 | 22 | 28 |



# 15. 学　生 Students

## 学生の定員及び現員 Quota and Actual Number

### 本　科

令和７年５月１日現在

| 区分 | 創造工学科 定員 | 創造工学科 現員 | コース別内訳 機械コース | 電気・電子コース | 情報コース | 化学・生物コース | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１学年 | 160 | 163（32） | | | | | 163（32） |
| 第２学年 | 160 | 161（40） | 36（４） | 37（５） | 44（11） | 44（20） | 161（40） |
| 第３学年 | 160 | 168（36） | 38（８） | 39（５） | 46（５） | 45（18） | 168（36） |
| 第４学年 | 160 | 145（36） | 33（４） | 30（２） | 39（16） | 43（14） | 145（36） |
| 第５学年 | 160 | 153（28） | 35（２） | 39（４） | 38（８） | 41（14） | 153（28） |
| 計 | 800 | 790（172） | 142（18） | 145（16） | 167（40） | 173（66） | 790（172） |

### 専攻科

| 区分 | 生産システム工学専攻 定員 | 生産システム工学専攻 現員 | コース別内訳 機械・制御コース | 電気電子・情報コース | 応用化学コース | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１学年 | 16 | 17（３） | 3（１） | 8（２） | 6（０） | 17（３） |
| 第２学年 | 16 | 18（３） | 3（０） | 9（０） | 6（３） | 18（３） |
| 計 | 32 | 35（６） | 6（１） | 17（２） | 12（３） | 35（６） |

## 志願者数、受験者数及び入学者数 Applicants, Candidates and Admissions

| 区分＼年度＼学科 | 令和３年度 創造工学科 | 令和４年度 創造工学科 | 令和５年度 創造工学科 | 令和６年度 創造工学科 | 令和７年度 創造工学科 |
|---|---|---|---|---|---|
| 定員 | 160 | 160 | 160 | 160 | 160 |
| 志願者 | 162（29） | 163（41） | 182（35） | 180（44） | 164（33） |
| 受験者 | 162（29） | 163（41） | 178（35） | 178（44） | 163（32） |
| 入学者 | 160（29） | 159（38） | 160（34） | 160（40） | 163（32） |
| 倍率 | 1.01 | 1.02 | 1.14 | 1.13 | 1.03 |

（　）内は女子で内数を示す。

## 出身学校別学生数　Junior and Senior High School Classification of Students

令和7年5月1日現在

【内　陸】

| 市町村名 | 学校名 | 学生数 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山形市 | 第一 | | | 1 | | 1 | 2 |
| | 第二 | | 1 | 1 | | 1 | 3 |
| | 第三 | 1 | 2 | 1 | | 2 | 6 |
| | 第四 | | | | | | 0 |
| | 第五 | | 2 | 3 | | | 5 |
| | 第六 | 1 | | | | | 1 |
| | 第七 | | | 2 | 1 | | 3 |
| | 第八 | 1 | | | | | 1 |
| | 第九 | | 1 | | | | 1 |
| | 第十 | | | 3 | 2 | 1 | 6 |
| | 金井 | 1 | 1 | | | | 2 |
| | 高楯 | | | 1 | | | 1 |
| | 山寺 | | | | | | 0 |
| | 蔵王第一 | 1 | | 2 | 1 | | 4 |
| | 蔵王第二 | | | | | | 0 |
| | 山大附属 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 7 |
| 上山市 | 南 | | | | 1 | | 1 |
| | 北 | | 1 | 1 | | 2 | 4 |
| | 宮川 | | | | | | 0 |
| 天童市 | 第一 | 1 | | | | 1 | 2 |
| | 第二 | | | | | 2 | 2 |
| | 第三 | 1 | 1 | | 1 | | 3 |
| | 第四 | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| 東村山郡 山辺町 | 山辺 | | 2 | | 1 | 1 | 4 |
| 東村山郡 中山町 | 中山 | | | | 1 | 1 | 2 |
| 寒河江市 | 陵東 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 6 |
| | 陵南 | | | 1 | | | 1 |
| | 陵西 | | | 1 | | | 1 |
| 西村山郡 大江町 | 大江 | | 2 | 1 | | | 3 |
| | 藤田の丘 | | | | | | 0 |
| 西村山郡 河北町 | 河北 | 1 | | 1 | 3 | | 5 |
| 西村山郡 西川町 | 西川 | | | | | 1 | 1 |
| 西村山郡 朝日町 | 朝日 | | | | | | 0 |
| 村山市 | 楯岡 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 6 |
| | 葉山 | | | | | | 0 |
| 東根市 | 第一 | | | | | 1 | 1 |
| | 第二 | | 1 | | | | 1 |
| | 第三 | | | | 1 | | 1 |
| | 大富 | 1 | | | 1 | | 2 |
| | 神町 | 2 | 1 | 1 | | | 4 |
| | 東桜学館 | | | 1 | | | 1 |
| 尾花沢市 | 福原 | 1 | | | | | 1 |
| | 尾花沢 | 4 | | 1 | 2 | | 7 |
| | （玉野） | | | | | | 0 |
| 山北郡村 大石田町 | 大石田 | | | | | | 0 |
| 新庄市 | 新庄 | | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| | 日新 | 2 | 1 | 3 | 2 | | 8 |
| | 八向 | | | | | | 0 |
| | 明倫学園 | 1 | 1 | | 1 | | 3 |
| | 萩野学園 | | 2 | | 1 | 1 | 4 |
| 最上郡 金山町 | 金山 | 1 | | | | | 1 |
| 最上郡 最上町 | 最上 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 |
| 最上郡 舟形町 | 舟形 | 2 | | | | | 2 |
| 最上郡 真室川町 | 真室川 | 1 | 1 | | | | 2 |

| 市町村名 | 学校名 | 学生数 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最上郡 大蔵村 | 大蔵 | | | 2 | | | 2 |
| 最上郡 鮭川村 | 鮭川 | 4 | | | 1 | | 5 |
| 最上郡 戸沢村 | 戸沢学園 | | 1 | | 1 | 1 | 3 |
| 米沢市 | 第一 | | 1 | 1 | | | 2 |
| | 第二 | 1 | 3 | 2 | 1 | 1 | 8 |
| | （南原） | 1 | | | | 1 | 2 |
| | 第三 | | | | | | 0 |
| | 第四 | | | | | 2 | 2 |
| | 第五 | 1 | | | | 1 | 2 |
| | 第六 | | | | | | 0 |
| | 第七 | | | | | | 0 |
| 南陽市 | 沖郷 | | | | | | 0 |
| | 赤湯 | | | | 1 | 1 | 2 |
| | 宮内 | 1 | | 1 | | | 2 |
| 東置賜郡 高畠町 | 高畠 | 4 | | 2 | 1 | 2 | 9 |
| 東置賜郡 川西町 | 川西 | | | | | | 0 |
| 長井市 | 南 | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| | 北 | 1 | | 5 | | | 6 |
| 西置賜郡 小国町 | 小国 | | | | | 1 | 1 |
| 西置賜郡 白鷹町 | 叶水 | | | | | | 0 |
| 西置賜郡 飯豊町 | 白鷹 | | | | | | 0 |
| | 飯豊 | | 3 | | | | 3 |
| 内陸地区小計 | | 40 | 37 | 45 | 31 | 31 | 184 |

【庄　内】

| 市町村名 | 学校名 | 学生数 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鶴岡市 | 鶴岡第一 | 13 | 17 | 5 | 10 | 14 | 59 |
| | 鶴岡第二 | 12 | 5 | 4 | 5 | 11 | 37 |
| | 鶴岡第三 | 16 | 10 | 12 | 15 | 10 | 63 |
| | 鶴岡第四 | 13 | 7 | 10 | 6 | 6 | 42 |
| | 鶴岡第五 | 1 | 5 | 7 | 6 | 3 | 22 |
| | 豊浦 | 1 | 3 | | 1 | | 5 |
| | 藤島 | 8 | 4 | 7 | 3 | 5 | 27 |
| | 羽黒 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 13 |
| | 櫛引 | 2 | 5 | 6 | 2 | 5 | 20 |
| | 朝日 | 6 | | 4 | 2 | 1 | 13 |
| | 温海 | 1 | 2 | 6 | 2 | 4 | 15 |
| 東田川郡 庄内町 | 立川 | 2 | 4 | 1 | 3 | 2 | 12 |
| | 余目 | 6 | 8 | 8 | 6 | 6 | 34 |
| 東田川郡 三川町 | 三川 | 6 | 3 | 5 | 7 | 2 | 23 |
| 酒田市 | 第一 | 2 | 8 | 4 | 7 | 3 | 24 |
| | 第二 | 5 | 5 | 3 | 1 | 5 | 19 |
| | 第三 | 4 | 5 | 8 | 3 | 6 | 26 |
| | 第四 | | 11 | 8 | 5 | 14 | 38 |
| | 第六 | 2 | 5 | 2 | 3 | 7 | 19 |
| | 鳥海八幡 | 1 | 4 | 3 | 2 | 1 | 11 |
| | 東部 | 2 | 1 | 4 | 2 | 4 | 13 |
| | （飛島） | | | | | | 0 |
| 飽海郡 遊佐町 | 遊佐 | 5 | 2 | 2 | 4 | 3 | 16 |
| 編入学生 | 酒田光陵 | | | | | 2 | 2 |
| | 酒田光陵 | | | | 1 | | 1 |
| 庄内地区小計 | | 111 | 116 | 111 | 99 | 117 | 554 |

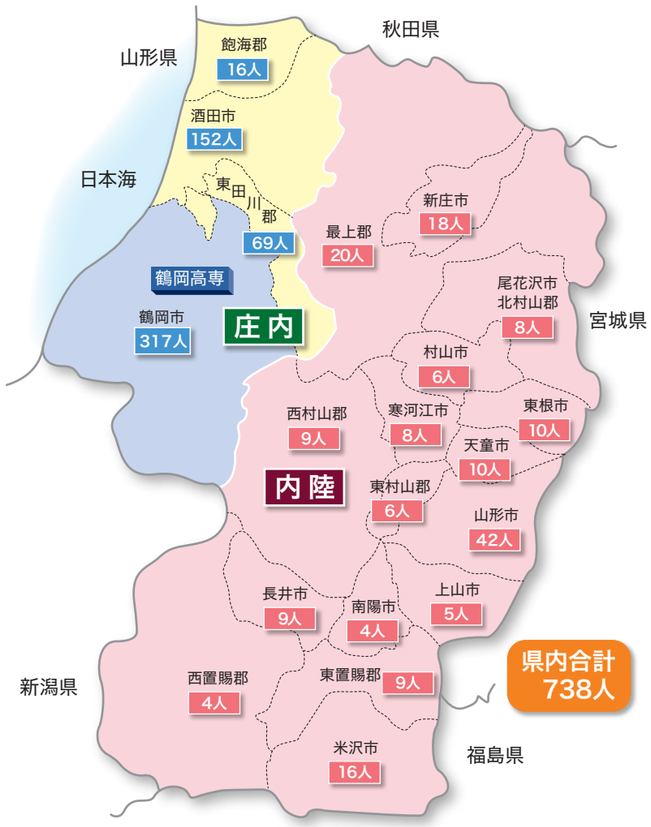
【県　外】

| 市町村名 | 学校名 | 学生数 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宮城県 仙台市 | 富沢 | | | 2 | | | 2 |
| | 宮教大附属 | | | | 1 | | 1 |
| 名取市 | みどり台 | | 1 | | | | 1 |
| 大崎市 | 古川東 | | | | | 1 | 1 |
| 塩竈市 | 第一 | | | | 1 | | 1 |
| 富谷市 | 富谷 | | | | 1 | | 1 |
| | 日吉台 | | | 1 | | | 1 |
| 加美郡加美町 | 小野田 | | | | 1 | | 1 |
| 大崎市 | 三本木 | | | 1 | | | 1 |
| 利府町 | 利府 | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| 岩手県 盛岡市 | 仙北 | | 1 | | | | 1 |
| 秋田県 秋田市 | 桜 | | | 1 | | | 1 |
| 秋田県 由利本荘市 | 西目 | 1 | | | | | 1 |
| 大仙市 | 大曲 | 1 | | | | | 1 |
| 福島県 会津若松市 | 第二 | | 1 | | | | 1 |
| 喜多方市 | 塩川 | | | | | 1 | 1 |
| 猪苗代町 | 猪苗代 | 1 | | | | | 1 |
| 新潟県 新潟市 | 新潟大附属 | | | | | 1 | 1 |
| | 横越 | | 1 | | | | 1 |
| | 黒崎 | 1 | | | | | 1 |
| 村上市 | 山北 | | | | 1 | | 1 |
| 東京都 府中市 | 第五 | | 1 | | | | 1 |
| 栃木県 高根沢町 | 阿久津 | | | | 1 | | 1 |
| 群馬県 前橋市 | 富士見 | | | | 1 | | 1 |
| 神奈川県 横浜市 | 大正 | | | 1 | | | 1 |
| 海老名町 | 有馬 | 1 | | | | | 1 |
| 埼玉県 さいたま市 | 本太 | | 1 | | | | 1 |
| 久喜市 | 久喜 | 1 | | | | | 1 |
| 千葉県 千葉市 | 小中台 | | | | 1 | | 1 |
| | 誉田 | | | 1 | | | 1 |
| 石川県 金沢市 | 紫錦台 | | | 1 | | | 1 |
| 長野県 千曲市 | 屋代 | 1 | | | | | 1 |
| 愛知県 高浜市 | 南 | 1 | | | | | 1 |
| 三重県 四日市 | 西朝明 | | | | 1 | | 1 |
| 和歌山県 和歌山市 | 西和 | | | | 1 | | 1 |
| 福岡県 福津市 | 津屋崎 | 1 | | | | | 1 |
| 沖縄県 中頭郡西原町 | 琉球大附属 | | | | 1 | | 1 |
| 沖縄市 | 宮里 | 1 | | | | | 1 |
| 帰国生徒 | | 1 | 1 | | 1 | | 3 |
| 県外計 | | 12 | 8 | 9 | 12 | 3 | 44 |
| 外国人留学生 | モンゴル | | | | | 1 | 1 |
| | タイ | | | 1 | 1 | | 2 |
| | メキシコ | | | | | 1 | 1 |
| | マレーシア | | | 1 | | | 1 |
| | チュニジア | | | | 1 | | 1 |
| | インド | | | 1 | 1 | | 2 |
| 外国人留学生計 | | 0 | 0 | 3 | 3 | 2 | 8 |

| 合計 | 学生数 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 163 | 161 | 168 | 145 | 153 | 790 |

## 出身地別学生数　Hometown Classification of Students

### 県　内　Students from Yamagata Prefecture




### 県　外　Students from outside Yamagata Prefecture

令和7年5月1日現在

| | |
|---|---|
| 宮城県 | 13人 |
| 秋田県 | 3人 |
| 岩手県 | 1人 |
| 福島県 | 3人 |
| 新潟県 | 4人 |
| 東京都 | 1人 |
| 栃木県 | 1人 |
| 群馬県 | 1人 |
| 埼玉県 | 2人 |
| 千葉県 | 2人 |
| 神奈川県 | 2人 |
| 石川県 | 1人 |
| 長野県 | 1人 |
| 愛知県 | 1人 |
| 三重県 | 1人 |
| 和歌山県 | 1人 |
| 福岡県 | 1人 |
| 沖縄県 | 2人 |
| 帰国生徒 | 3人 |
| 計 | 44人 |

### 留学生　Overseas Students

| | |
|---|---|
| モンゴル | 1人 |
| タイ | 2人 |
| メキシコ | 1人 |
| マレーシア | 1人 |
| チュニジア | 1人 |
| インド | 2人 |
| 計 | 8人 |

※ 上記の学生数は、本科生のみである。

## 学校納付金　Tuition/School fees

授業料等

| 種類 | 金額 |
|---|---|
| 入学料 | 84,600円 |
| 授業料前期分 | 117,300円 |
| 授業料後期分 | 117,300円 |

その他

| 種類 | 金額 |
|---|---|
| 学生会入会金 | 500円 |
| 学生会費 | 6,000円 |
| 後援会入会金 | 10,000円 |
| 後援会費(本科) | 28,000円 |
| 後援会費(専攻科) | 18,000円 |

※学寮にかかる経費はP.42に掲載

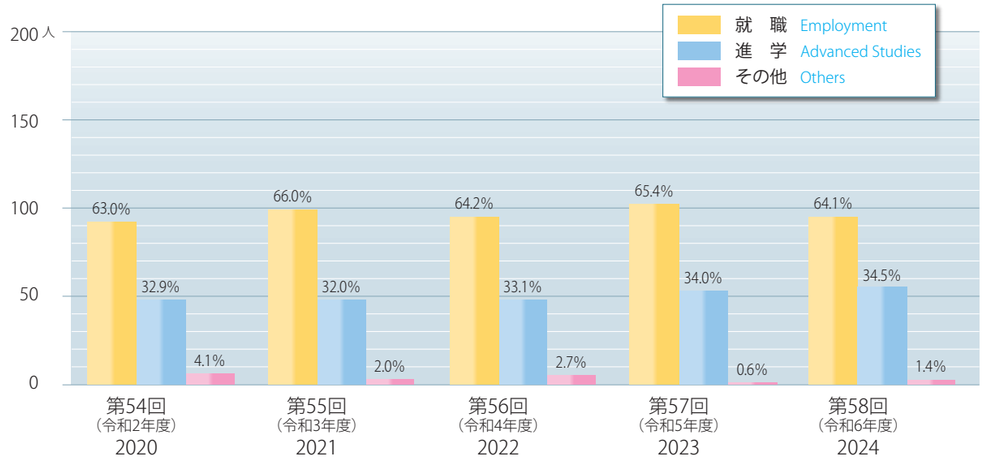
## 奨学生数　Scholarship Students

令和6年度実績

| 区分＼学年 | 日本学生支援機構 貸与(第一種) | 貸与(第二種) | 給付(修学支援新制度) | オリエンタルモーター奨学財団(給付) | 真知社育英会 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年 | 5 | — | — | 2 | 0 | 2 |
| 2年 | 1 | — | — | 1 | 1 | 0 |
| 3年 | 1 | — | — | 0 | 0 | 0 |
| 4年 | 7 | 2 | 13 | 2 | 0 | 3 |
| 5年 | 5 | 2 | 22 | 1 | 0 | 2 |
| 専攻科 | 0 | 2 | 4 | — | 0 | 1 |
| 合計 | 19 | 6 | 39 | 6 | 1 | 8 |

# 16. 卒業後の進路　Careers after Graduation

## 年度別就職・進学状況　Employment and Advanced Studies




## 就　職（第56回～第58回卒業生）　Employment（2022～2024）

| 区分 | | | 機械コース※ | | | 電気・電子コース※ | | | 情報コース※ | | | 化学・生物コース※ | | | 計 | | | 専攻科 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 第56回（令和4年度） | 第57回（令和5年度） | 第58回（令和6年度） | 第56回（令和4年度） | 第57回（令和5年度） | 第58回（令和6年度） | 第56回（令和4年度） | 第57回（令和5年度） | 第58回（令和6年度） | 第56回（令和4年度） | 第57回（令和5年度） | 第58回（令和6年度） | 第56回（令和4年度） | 第57回（令和5年度） | 第58回（令和6年度） | 第19回（令和4年度） | 第20回（令和5年度） | 第21回（令和6年度） |
| 卒業者数 | | | 36 | 37 | 24 | 39 | 46 | 35 | 37 | 42 | 40 | 36 | 31 | 43 | 148 | 156 | 142 | 21 | 16 | 18 |
| 就職者数 | | | 28 | 28 | 17 | 21 | 31 | 21 | 22 | 26 | 27 | 24 | 17 | 26 | 95 | 102 | 91 | 14 | 12 | 13 |
| 求人数 | | | 287 | 356 | 292 | 310 | 350 | 316 | 243 | 302 | 286 | 170 | 217 | 214 | 1010 | 1225 | 1108 | 659 | 790 | 728 |
| 求人倍率 | | | 9.9 | 12.7 | 17.2 | 14.8 | 11.3 | 15.0 | 11.4 | 11.6 | 10.6 | 6.9 | 12.8 | 7.9 | 10.5 | 12 | 12 | 52.2 | 65.8 | 56.0 |
| 就職決定者 | 規模別 | 500人以上の事業所 | 22 | 23 | 11 | 14 | 24 | 16 | 16 | 17 | 20 | 20 | 14 | 19 | 72 | 78 | 66 | 9 | 9 | 10 |
| | | 499～100人の事業所 | 5 | 4 | 6 | 5 | 5 | 4 | 5 | 8 | 5 | 2 | 1 | 4 | 17 | 18 | 19 | 5 | 2 | 3 |
| | | 100人未満の事業所 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 | 6 | 5 | 0 | 1 | 0 |
| | | 官公庁 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 28 | 28 | 17 | 21 | 31 | 21 | 22 | 26 | 27 | 24 | 17 | 26 | 95 | 102 | 91 | 14 | 12 | 13 |
| | 産業別 | 鉱業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 建設業 | 1 | 3 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 食料品 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 繊維工業 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 |
| | | 製造業 出版・印刷 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 化学工業 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 15 | 9 | 12 | 19 | 13 | 16 | 2 | 2 | 2 |
| | | 製造業 石油製品 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 鉄鋼業 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 非鉄金属 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | | 製造業 金属製品 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 一般機械 | 3 | 3 | 3 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 4 | 5 | 1 | 0 | 1 |
| | | 製造業 電気機械 | 5 | 5 | 2 | 5 | 7 | 4 | 2 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 | 15 | 7 | 2 | 1 | 1 |
| | | 製造業 輸送用機械 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | | 製造業 精密機械 | 5 | 4 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 9 | 7 | 6 | 2 | 2 | 2 |
| | | 製造業 その他 | 2 | 3 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 6 | 5 | 3 | 1 | 0 |
| | | 卸売・小売業 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | | 金融・保険業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 運輸通信業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 電気・ガス・水道業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 3 | 0 | 0 | 1 |
| | | サービス業 | 2 | 3 | 4 | 8 | 13 | 5 | 15 | 17 | 18 | 1 | 2 | 1 | 26 | 35 | 28 | 2 | 2 | 6 |
| | | 官公庁 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 28 | 28 | 17 | 21 | 31 | 21 | 22 | 26 | 27 | 24 | 17 | 26 | 95 | 102 | 91 | 14 | 12 | 13 |

※一部、従業員数を非公開としている企業があり、就職者数、規模別、産業別の計が一致しない箇所がある。

## 最近3か年の就職先　List of Employers（2022～2024）

**建設業**
エクシオグループ
水ing㈱
成友興業㈱
東北発電工業
日本電設工業
**林建設工業**
東日本高速道路
メタウォーター
レイズネクスト

**食料品**
**月山酒造**
キリンビール
グリコマニュファクチャリングジャパン
サントリーホールディングス
**ドリームズファーム**
森永乳業
森永製菓
ヤクルト本社福島工場
理研ビタミン

**繊維工業**
旭化成
クラレ
東レ

**化学工業**
天野エンザイム
石川樹脂工業
NBCメッシュテック
大阪有機化学工業
花王
花王ロジスティクス
クレハ
三洋化成工業
JNC石油科学
住友科学
住友精化
星光PMC
第一工業製薬
第一三共ケミカルファーマ
第一三共プロファーマ
大正製薬
大日精化工業
中外製薬工場
DIC
**東亞合成**
**東北東ソー化学**
東和薬品
**日新製薬**
ニプロ
ニプロファーマ
日本化学産業
日本マイクロバイオファーマ
長谷川香料
**ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ**
**ベーリンガーインゲルハイム製薬**
丸善石油化学
三井化学
三井化学分析センター
三菱重工環境・化学エンジニアリング
ミヨシ油脂
レゾナック

**石油製品・石炭製品**
出光興産
ENEOS
東亜石油

**非鉄金属**
LIXIL

**鉄鋼業**
**山陽精機**
東京製鐵

**金属**
東洋製罐
大和製罐

**一般機械器具**
SMC
京都製作所
クボタ
**斎藤農機製作所**
**佐藤鉄工所酒田事業所**
**三協オイルレス工業**
**シンクロン鶴岡工場**
ダイキン工業
ツガミ
**トガシ技研**
日本精工
フジテック
三木プーリ
**山形カシオ**
**山形航空電子**

**電気機器機械器具**
アズビル
ウチヤ・サーモスタット
GEヘルスケア・ジャパン
**JVCケンウッド山形**
SCREEN SPEサービス
**スタンレー鶴岡製作所**
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
**TDKエレクトロニクスファクトリーズ**
**デンソーFA山形**
東北村田製作所
**ハッピージャパン**
浜松ホトニクス
日立国際電気
ファナック
双葉電子工業
三菱電機
安川電機
ユーテック

**輸送用機械器具**
**㈱片桐製作所**
KYB
JALエンジニアリング
トヨタ自動車東日本

**精密機械機器**
秋山精鋼
**オリエンタルモーター鶴岡事業所**
コニカミノルタジャパン
テルモ
**東北エプソン**
ニコン
**ニシカワ**
日立ハイテクフィールディング
福島キヤノン

**その他**
**アリオンテック**
AGC
**OKIサーキットテクノロジー**
オキサイド
**高研**
国立印刷局
日東電工
NITTOKU
日本ゼオン
**ミドリオートレザー**
レンゴー

**卸売・小売**
アイリスオーヤマ
アマゾンジャパン合同会社
キヤノンマーケティングジャパン

**運輸・通信**
NTTロジスコ
ソフトバンク
東日本旅客鉄道

**電気・ガス・水道**
関西電力
JERA
東京ガスネットワーク
東京電力ホールディングス
東北電力
日本原子力発電

**公務**
**酒田市役所**

**サービス業**
アイ・エス・ビー
アイ・システム
アイズ・ソウトウエア
アクセンチュア
アクロホールディングス（アクログループ）
AGEST
アビリカ
**ALSOK山形**
イシダ
ヴィッツ
ウナルステクノロジー
エスユーエス
NRIネットコム
NECプラント・エンジニアリング
NHKテクノロジーズ
NSD
NTTアノードエナジー
エヌ・ティ・ティエムイー
NTTコミュニケーションズグループ
NTTファシリティーズ
NTT東日本グループ会社
キヤノンアネルバ
キヤノンメディカルシステムズ
京セラコミュニケーションシステム
クレスコ・ネクシオグローバルトラストネットワークス
サンリツオートメイション
ジェイ・クリエイション
CTCテクノロジー
SOLIZE
第一工業
タマディック
ティ・アイ・ディ
DSR
テコム
デジタルテクノロジー
東京エレクトロングループ
トーテックアメニティ
東杜シーテック
**東北環境開発**
東北電気保安協会
**日情システムソリューションズ**
日本空港テクノ
ネットプレインズ
ネットワンシステムズ
パーソルクロステクノロジー
ハイマックス
半導体エネルギー研究所
日立パワーソリューションズ
ヒロエンジニアリング
FIXER
フェイバーエンジニアリング
**フェルメクテス**
富士通ネットワークソリューションズ
富士電機
富士フイルム
富士フィルムメディカル
三菱地所プロパティマネジメント
三菱電機ビルソリューションズ
メンバーズ
**山形東亜DKK**
横河ソリューションサービス
**YCC情報システム**
ラック
レゾナント・システムズ

※太ゴシックは、県内就職した企業名です。

## 進　学（編入学）　Advanced Studies（University, Vocational School）

本科卒業後さらに学問追求を希望する場合は、大学の 3 年に編入学することができます。60以上の大学が高専からの編入学を受け入れており、複数の国立大学の編入学試験を受ける機会があるだけでなく、在学中の成績により推薦入試を受験することができます。

就職進学資料室

### 進学先一覧　List of Advanced Studies（University, Vocational School）

| 大　学　名 | 第56回卒業生（令和4年度） | 第57回卒業生（令和5年度） | 第58回卒業生（令和6年度） | 左記以前の進学先 |
|---|---|---|---|---|
| 長岡技術科学大学 | 14 | 17 | 16 | 室蘭工業大学 |
| 豊橋技術科学大学 | 1 | 1 | 3 | 福島大学 |
| 北海道大学 | 1 | | | 宇都宮大学 |
| 北見工業大学 | | 1 | 1 | 茨城大学 |
| 弘前大学 | 1 | | 1 | 埼玉大学 |
| 秋田大学 | 1 | 1 | | 東京工業大学 |
| 岩手大学 | | 1 | | 東京大学 |
| 山形大学 | 2 | | 2 | 福井大学 |
| 東北大学 | 2 | 1 | | 金沢大学 |
| 群馬大学 | | 1 | 1 | 奈良女子大学 |
| 筑波大学 | | | 1 | 神戸大学 |
| 千葉大学 | 1 | 1 | 2 | 京都工芸繊維大学 |
| 東京農工大学 | | 2 | 1 | 愛媛大学 |
| お茶の水女子大学 | 1 | | | 山口大学 |
| 電気通信大学 | | 1 | | 宮崎大学 |
| 山梨大学 | | 1 | | 九州工業大学 |
| 新潟大学 | 2 | 4 | 1 | 琉球大学 |
| 信州大学 | | 2 | | 会津大学 |
| 名古屋大学 | | | 1 | 公立千歳科学技術大学 |
| 島根大学 | | | 1 | 函館工業高等専門学校専攻科 |
| 鶴岡工業高等専門学校専攻科 | 19 | 18 | 17 | 釧路工業高等専門学校専攻科 |
| 千葉工業大学 | 1 | | | 富山高等専門学校専攻科 |
| 愛知工業大学 | 1 | | | 岐阜工業高等専門学校専攻科 |
| 東北公益文科大学 | | 1 | | 都立産業技術高等専門学校専攻科 |
| 新潟コンピュータ専門学校 | 1 | | | 東海大学 |
| 名古屋ビジュアルアーツアカデミー専門学校 | | | 1 | 日本大学 |
| 大阪芸術大学 | 1 | | | 帝京大学 |
| 計 | 49 | 53 | 49 | 他 |

## 進　学（大学院）　Advanced Studies（Graduate School）

専攻科で所定の単位を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格すると、学士（工学）の学位が取得でき、大学院の受験資格を得ることができます。

### 大学院進学先一覧　List of Advanced Studies（Graduate School）

| 大　学　院　名 | 第19回修了生（令和4年度） | 第20回修了生（令和5年度） | 第21回修了生（令和6年度） | 左記以前の進学先 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道大学大学院 | | 1 | | 室蘭工業大学大学院 |
| 長岡技術科学大学大学院 | 3 | | | 山形大学大学院 |
| 新潟大学大学院 | | | 1 | 会津大学大学院 |
| 埼玉大学大学院 | 1 | | 1 | 東北大学大学院 |
| 筑波大学大学院 | 1 | | 1 | 信州大学大学院 |
| 東京科学大学大学院 | | 1 | 1 | 京都大学大学院 |
| 電気通信大学大学院 | | | 1 | 宇都宮大学大学院 |
| 豊橋技術科学大学 | | 1 | | 都立大学大学院 |
| 北陸先端科学技術大学院大学 | | 1 | | 奈良先端科学技術大学院大学 |
| 九州工業大学大学院 | 1 | | | 慶応義塾大学大学院 |
| 情報セキュリティ大学大学院 | 1 | | | 他 |
| 計 | 7 | 4 | 5 | |

## 卒業後の資格　Certification after Graduation

| 資　格 | 取得受験資格等（関係法令） |
|---|---|
| 第二種電気主任技術者 | 本校創造工学科電気・電子コースにおいて、通商産業省令第52号第7条第1項各号の科目を修めて卒業し、その後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用に従事した者（電気事業法第44条、昭和40年通商産業省令第52号第1条） |
| 第三種電気主任技術者 | 本校創造工学科電気・電子コースにおいて、通商産業省令第52号第7条第1項各号の科目を修めて卒業し、その後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用に従事した者（同上） |
| 第一種ボイラー・タービン主任技術者 | 創造工学科機械コースを卒業し、発電用のボイラー又は蒸気タービンの工事、維持又は運用の実務経験を8年以上（内、圧力5,880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービンの工事、維持または運用に関する実務経験が4年以上）有する者（同上） |
| 第二種ボイラー・タービン主任技術者 | 創造工学科機械コースを卒業し、発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備の工事、維持又は運用に関する実務経験を4年以上有する者（同上） |
| 甲種危険物取扱者 | 化学に関する学科もしくは課程を修めて卒業した者（消防法第13条の3第4項）（受験資格） |
| 火薬類製造保安責任者 | 本校で工業化学に関する学科を専修して卒業した者（火薬類取締法施行規則第77条）（受験科目一部免除） |
| 三級自動車整備士 | 高等専門学校において自動車に関する学科を修めて卒業した者（自動車整備士技能検定規則第19条）（受験資格） |
| 毒物・劇物取扱責任者 | 創造工学科化学・生物コースを卒業した者は、製造業、販売業等の施設から届出をすれば、毒劇物取扱責任者となれる。（毒物及び劇物取締法第8条、毒物及び劇物取締法施行規則第6条） |
| その他の資格 | ●大学編入学試験を受ける資格（学校教育法第122条）<br>●電気工作物検査官の資格（電気事業法施行令第45条）創造工学科機械コース、電気・電子コースを卒業した者 |

# 17. 学　寮　Dormitory

本校の学寮は「鶴鳴寮」と呼ばれ、約400名が入寮しています。女子寮は、地域からの強い要望により平成15年度に開設され、現在91名が入寮しています。

令和６年度には混住型国際寮（日本人寮生と外国人留学生の混住寮）が竣工しました。

本校学寮では、模範的な寮生「指導寮生」が後輩の生活や勉学の指導にあたっているほか、学寮スタッフが寮生の生活をサポートしています。

また、寮生の自治会として「寮生会」が組織されており、各種行事の立案及び運営を行っていて、年間を通して、寮祭、体育大会等の行事が企画され楽しく実施されています。学寮では、いつも互助・互譲の精神をもちながら、明るい活気ある寮になるように努めています。

鶴鳴寮管理棟玄関

## 入寮状況　Number of Boarders

令和7年5月1日現在

| 区　分 | 創造工学科 | コース別内訳 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 機械コース | 電気・電子コース | 情報コース | 化学・生物コース |
| 第1学年 | 86（18） | | | | |
| 第2学年 | 94（25） | 18（2） | 23（4） | 30（6） | 23（13） |
| 第3学年 | 99（23）③ | 21（5）① | 34（4） | 17（2）① | 27（12）① |
| 第4学年 | 68（14）③ | 13（1） | 18（1）① | 17（6）② | 20（6） |
| 第5学年 | 49（11）② | 14（2） | 9 | 13（3）① | 13（6）① |
| 計 | 396（91）⑧ | 66（10）① | 84（9）① | 77（17）④ | 83（37）② |

（　）内は女子学生数、○内は留学生数（内数）

## 1か月当り寮生負担経費　Monthly Dormitory Expenses

| | | |
|---|---|---|
| 寄宿料 | 個室 | 800円　月額 |
| | 複数人居室 | 700円　月額 |
| 寮費 | 13,000円　月額 | |
| 給食費 | 1,507円　日額 | |
| その他 | 冷暖房費 | 4,500円　月額 |
| | 寮生会費（年額） | 2,400円（4月納付） |
| | 入寮費　3,000円、寮生会入会金　300円（いずれも入寮時のみ） | |

1年生勉強会

居室（3人部屋）

寮生体育大会

学寮食堂

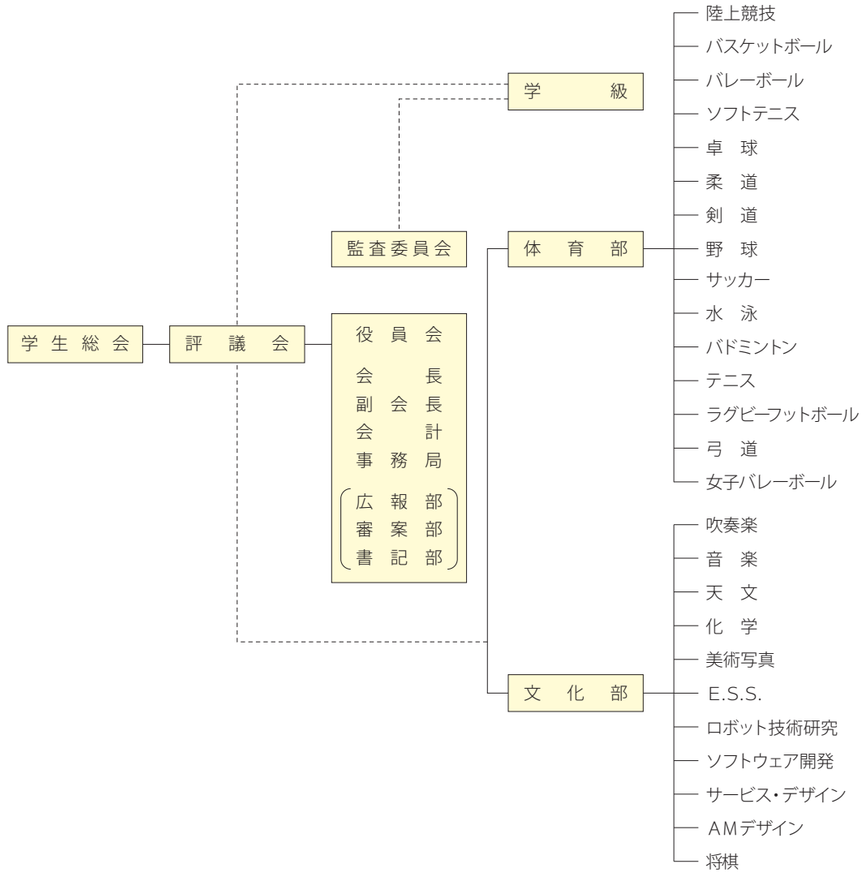




# 18. 学生会　Student Council

本校には学生の自発的な活動を通じてその人間形成を助長し、高専教育の目的達成に資することを目的として「学生会」が組織されており、文化祭や各種行事などの企画を実施しています。また、27の体育部と文化部が所属しており、高等専門学校体育大会や各種コンテスト等に参加しているほか、１年生から３年生は、高等学校総合体育大会などの高校大会にも出場をしています。

## 組織図　Organization Chart



全国高専体育大会（バレーボール）

東北地区高専体育大会（野球部）

吹奏楽部のミニサマーコンサート

# 19. 学　校　行　事　College Calendar

※令和７年５月１日現在。諸事情により変更する場合があります。

## 前期（令和7年度）

**4**
1日(火)～6日(日)　春季休業
5日(土)　入学式
7日(月)　始業行事
8日(火)　前期授業開始
20日(日)　開校記念日

**5**
21日(水)　校内体育大会
24日(土)　専攻科入学試験（推薦）

**6**
4日(水)～6日(金)　前期中間試験

**7**
4日(金)～6日(日)　東北地区高専体育大会
12日(土)　専攻科入学試験（学力・社会人）
29日(火)～8月1日(金)　前期末試験

**8**
2日(土)～9月23日(火)　夏季休業
3日(日)　中学生一日体験入学①
28日(木)　編入学試験
23日(土)～9月7日(日)　全国高専体育大会

**9**
28日(日)　中学生一日体験入学②

## 後期（令和7年度）

**10**
1日(水)　後期授業開始
12日(日)　ロボットコンテスト東北大会（福島高専）
11日(土)～12日(日)　プログラミングコンテスト本選（松江高専）
24日(金)～25日(土)　高専祭

**11**
16日(日)　ロボットコンテスト全国大会（両国国技館）
26日(水)～28日(金)　後期中間試験

**12**
27日(土)～1月12日(月)　冬季休業

**1**
13日(火)　授業開始
17日(土)　入学試験（推薦）

**2**
3日(火)～6日(金)　卒業研究発表会（5年）
8日(日)　入学試験（学力）
12日(木)～17日(火)　学年末試験
20日(金)　終業行事
21日(土)～3月31日(火)　学年末休業

**3**
19日(木)　卒業式・修了式

校内体育大会

中学生一日体験入学

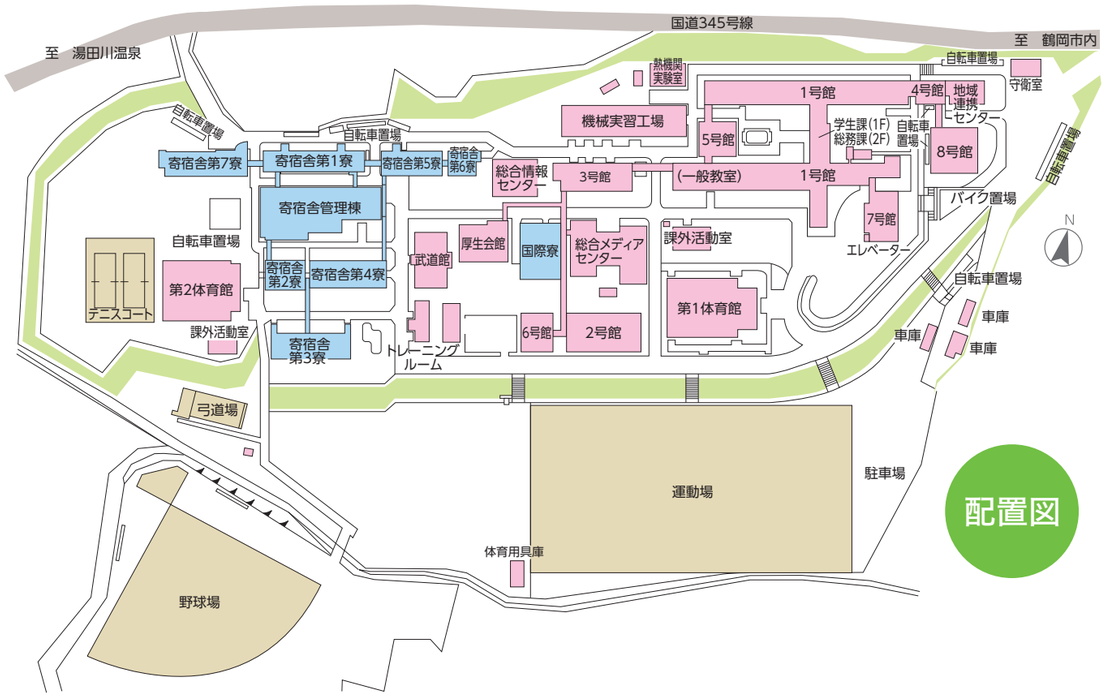
高専祭

高専ロボコン

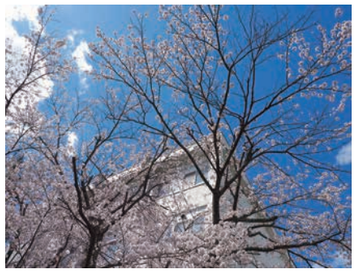
親子で楽しむ科学フェスタ

東北地区高専体育大会

# 20. キャンパスマップ　Campus Map




## 土地・建物面積　Campus Area

令和７年５月１日現在

| 区　分 | 土　地 (㎡) | 建　物 構造 | 建　物 延面積(㎡) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 校　舎 | | | 14, 248 | 1号館 6, 881　5号館 786<br>2号館 2, 290　6号館 503<br>3号館 1, 069　7号館 1, 111<br>4号館 672　8号館 936 |
| 総合メディアセンター | 39, 600 | R 4 | 1, 665 | |
| 厚生会館 | | R 2 | 732 | |
| 総合情報センター | | R 1 | 304 | |
| 地域連携センター | | R 3 | 492 | |
| 機械実習工場 | | R 1 | 745 | |
| 熱機関実験室 | | R 1 | 165 | |
| 課外活動室 | | S 1 | 166 | |
| 体育施設 | | | 2, 590 | 第1体育館 1, 068　武道館 365<br>第2体育館 884　弓道場 86<br>トレーニングルーム 117<br>体育用具庫 70 |
| その他 | | | 1, 070 | 校舎間渡廊下<br>守衛室、車庫、倉庫<br>受変電室等 |
| 寄宿舎 | 14, 046 | | 10, 357 | 1寮 1, 340　6寮 314<br>2寮 871　7寮 1, 596<br>3寮 1, 723　管理棟 1, 146<br>4寮 1, 094　渡り廊下 186<br>5寮 788　国際寮 1, 299 |
| 運動場敷地 | 44, 621 | | | |
| その他の用地 | 11, 976 | | | 法地、山地 |
| 計 | 110, 243 | | 32, 534 | |
| 職員宿舎　12戸 | | | 669 | |